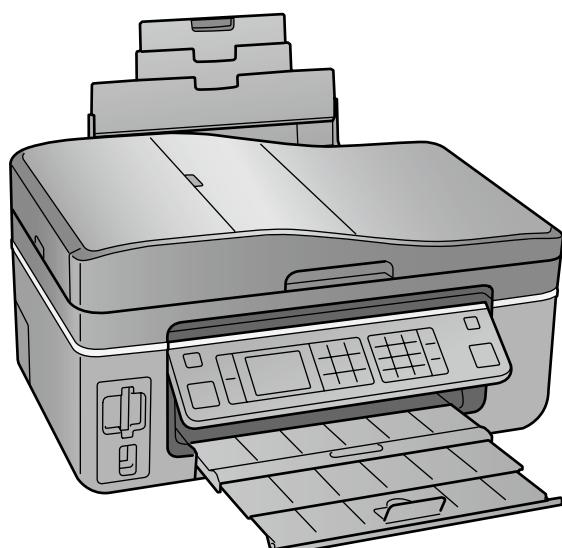
インクジェットプリンタ（複合機）

PX-601F

操作ガイド

本製品の使い方全般を説明しています。

―― 本書は製品の近くに置いてご活用ください。――

もくじ

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、アース接続して使用することを示しています。		

設置上のご注意

⚠警告	
	本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。また、右図の設置スペースを確保してください。

⚠注意			
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。 **本製品を移動する際は、左右の下部を両手で持ち、水平な状態で移動してください。** 傾けたり立てたりすると、スキャナユニットが開いて、けがをするおそれがあります。		**不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。 **油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

電波障害について

テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。

静電気について

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

次のような場所にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告

液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。
倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

<table>
<tr><th colspan="4">⚠注 意</th></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
• 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
• 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
• 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。</td><td></td><td>インクカートリッジを分解しないでください。
分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。</td></tr>
</table>

取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- 黄色いフィルムは必ずはがしてからセットしてください。はがさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対にはがさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、カートリッジ交換中に電源をオフにしたりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 裏表紙「インクカートリッジの回収について」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インク消費について

プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外（インクカートリッジ装着時・ヘッドクリーニング時・セルフクリーニング時）にも、全色のインクが消費されます。

※ 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

各部の名称と働き

1 エッジガイド

用紙をまっすぐ給紙するためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
☞21 ページ「印刷用紙のセット」

2 オートシートフィーダ

印刷する用紙をセットするところです。

3 給紙口カバー

内部に異物が入ることを防ぐ透明なカバーです。

4 用紙サポート

セットした用紙を支えるところです。
☞21 ページ「印刷用紙のセット」

5 オートドキュメントフィーダ

連続して原稿を読み取るための装置です。
☞24 ページ「原稿のセット」

6 オートドキュメントフィーダカバー

詰まった用紙を取り除くときに開けるカバーです。
☞91 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」

7 メモリカードスロット

メモリカードをセットするところです。
☞22 ページ「メモリカードのセットと取り出し」

8 外部機器・Bluetooth ユニット接続コネクタ

外部記憶装置・PictBridge 対応機器・Bluetooth ユニットを接続する USB コネクタです。

9 排紙トレイ

印刷された用紙を保持するところです。3 段すべて引き出してお使いください。トレイ先端のストッパは、用紙の飛び出しを防ぐための部品です。A4 サイズの普通紙印刷を行うときは、ストッパを立ててお使いください。ただし、Legal サイズの用紙のときは立てる必要はありません。

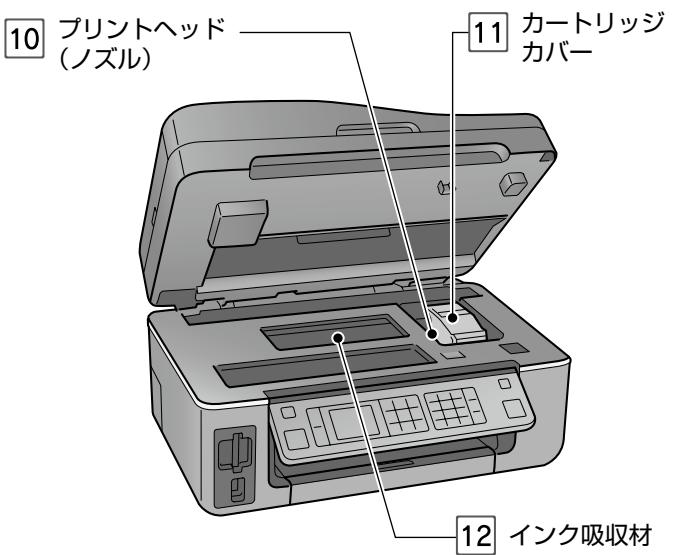
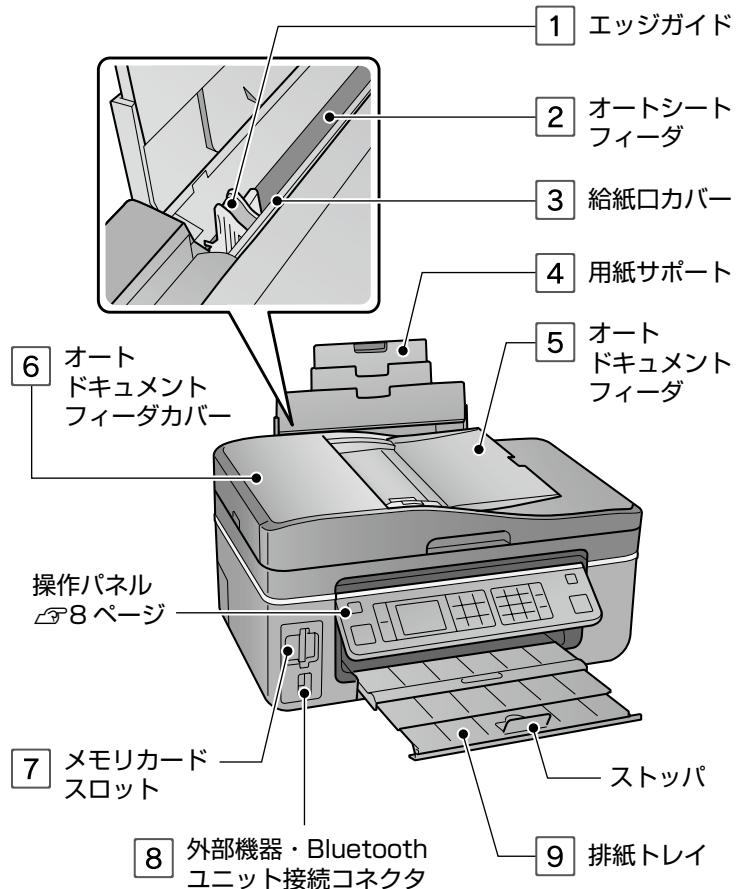
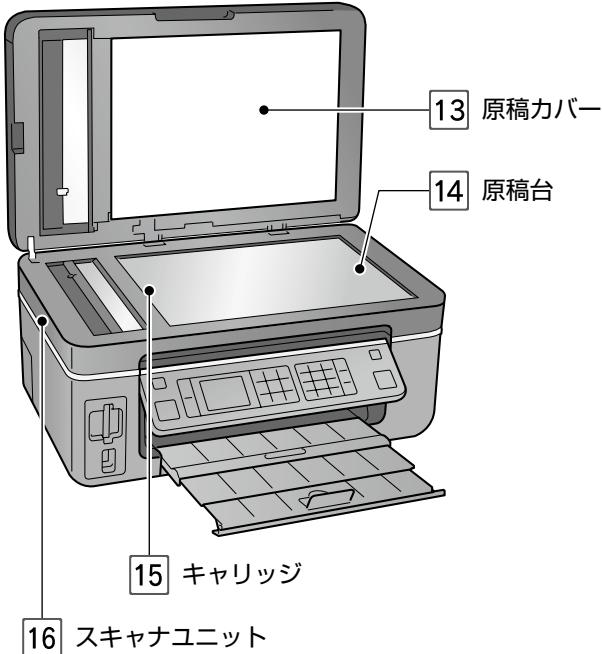
10 プリントヘッド（ノズル）

インクを吐出するところです。外からは見えません。

11 カートリッジカバー

インクカートリッジのセット・交換時に開けるカバーです。

12 インク吸収材

フチなし印刷時に用紙からはみ出したインクを吸収するところです。

13 原稿カバー

スキャン時に外部の光をさえぎるカバーです。

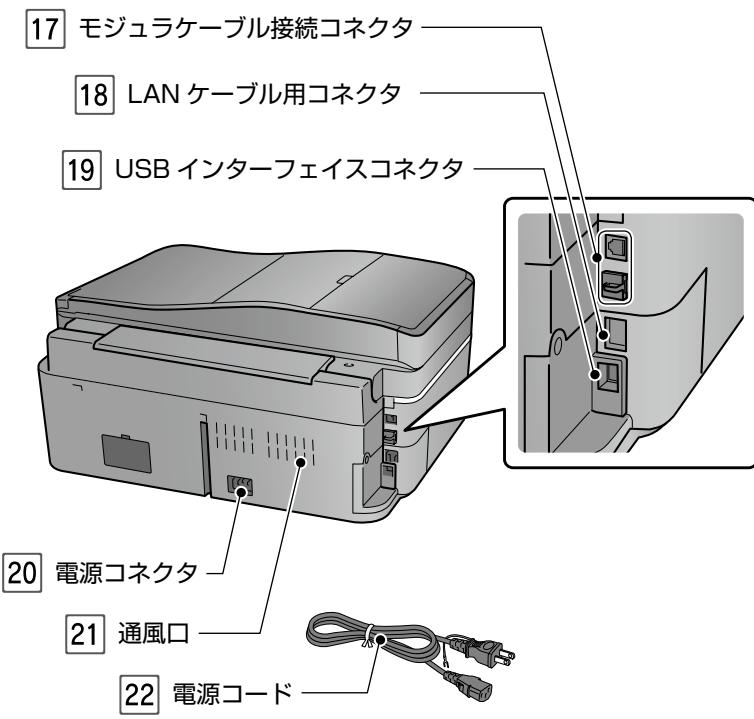
14 原稿台

原稿をセットするところです。
☞24 ページ「原稿のセット」

15 キャリッジ

原稿をスキャンするセンサーです。

16 スキャナユニット

原稿をスキャンする装置です。

17 モジュラケーブル接続コネクタ

LINE：電話回線を接続するコネクタです。
EXT.：外付け電話機を接続するコネクタです。

18 LAN ケーブル用コネクタ

本製品をネットワーク接続設定するときや、有線 LAN でネットワーク接続するときに LAN ケーブルを接続するコネクタです。

19 USB インターフェイスコネクタ

パソコンと USB ケーブルを接続するコネクタです。

20 電源コネクタ

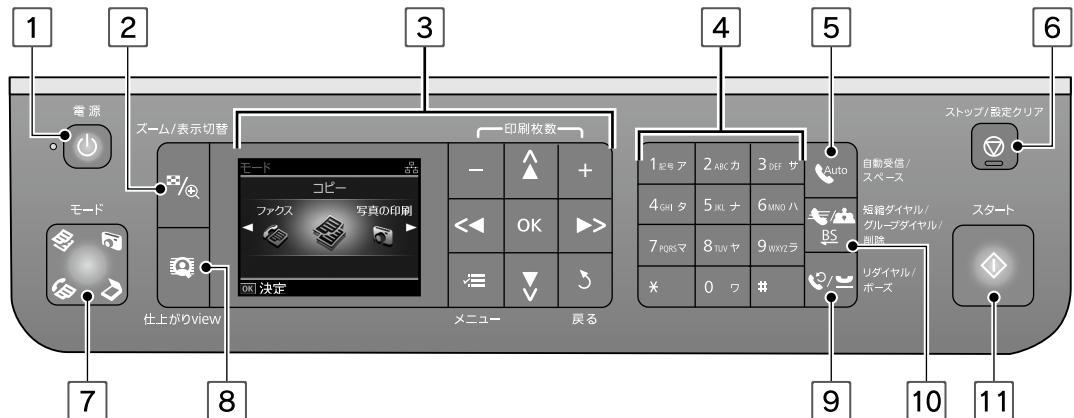
電源コードを接続するコネクタです。

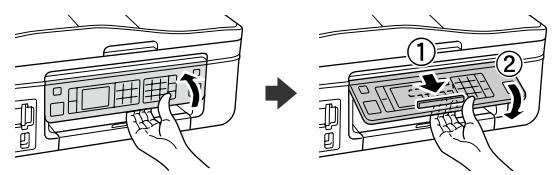
21 通風口

内部で発生する熱を放出する穴です。設置するときは通風口をふさがないようにしてください。

22 電源コード

電源コンセント（AC100V）に接続するコードです。

操作パネルの使い方

パネルの角度調整

操作パネルは使いやすい角度に調整できます。
パネルを上げるときは、パネル下の開口部に手を入れて引き上げます（カチカチと音がします）。
下げるときは、パネル裏側のレバーを引きながら下げます。

1 【電源】ボタン

電源をオン・オフします。

2 【ズーム / 表示切替】ボタン

写真のズーム設定をします。
☞9 ページ「写真のズーム設定」
また、写真の表示を以下の順で切り替えます。
1 面表示（枚数情報表示あり）→ズーム枠表示→
1 面表示（枚数情報表示なし）→ 9 面表示

3 液晶ディスプレイ・選択 / 設定ボタン

液晶ディスプレイに表示される案内に従って、ボタンを押してメニューや項目を選択したり、印刷枚数を設定したりします。
☞9 ページ「画面の見方とボタンの使い方」

4 テンキー（ダイヤルボタン）

数値やコピー枚数、ファクス番号や文字などの入力をします。

5 【自動受信 / スペース】ボタン

ファクスデータを自動的に受信して印刷する自動受信の設定をします。ファクス番号や名称の入力中に押すと、スペース（1 文字分の空白）を設定します。

6 【ストップ / 設定クリア】ボタン

印刷を中止します。また、操作中の設定を購入時の状態に戻します。

7 【モード】ボタン

- よく使うモード（コピー･写真の印刷･スキャン･ファクス）を順番に切り替えて表示します。
  選択されているモードのボタンが点灯します。
- 各モードで設定中に押すと、モード選択画面に戻ります。

8 【仕上がり view】ボタン

写真の補正効果＊1 を確認します。

＊ 1： フィルタ･オートフォトファイン！EX･P.I.M.･明るさ調整･コントラスト･シャープネス･鮮やかさ
＊ 2： 補正効果の高い（画面で効果を確認しやすい）写真ほど、緑色のバーが多く表示される

※ 画像データの容量など条件によって、表示の切り替えに 20 秒以上かかることがあります。
※ 液晶ディスプレイの表示と印刷結果では、発色方法が異なるため色合いに差が生じることがあります。
※ 砂時計マークが表示されていても、次の写真選択や【仕上がり view】ボタンなどの操作は可能です。

9 【リダイヤル / ポーズ】ボタン

最後にファクス送信を行った宛先番号を呼び出します。ダイヤル番号入力中に押すと、“−”（ハイフン）を入れて番号と番号の間に約 3 秒間の間隔（ポーズ）を設定します。

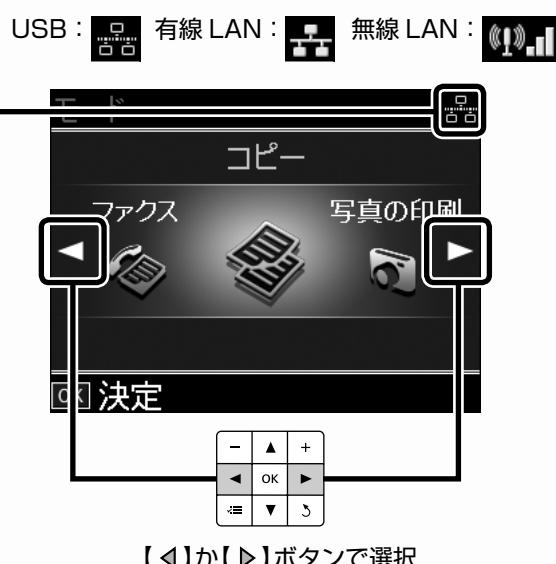
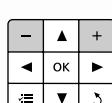
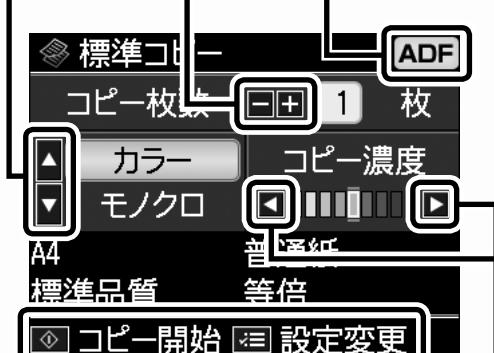
10 【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタン

登録されているファクス短縮ダイヤルやグループダイヤルを呼び出します。ファクス番号や名称の入力中に押すと、1 文字戻って消去（バックスペース）します。

11 【スタート】ボタン

コピーや印刷などを開始します。

画面の見方とボタンの使い方

メニューや項目を選択したり印刷枚数を設定したりするときは、液晶ディスプレイに表示される案内に従って、下図のグレーで示されているボタンを押してください。

写真のズーム設定

液晶ディスプレイに写真が表示されているときは、ズームアップして印刷することもできます。【ズーム / 表示切替】ボタンを押してズーム設定枠を表示し、ズームアップする範囲を指定ください。

ズーム設定枠の表示

ズーム設定枠表示

ズーム設定枠の縮小・拡大

枠を縮小してズームアップ

枠を拡大してズームアウト

ズーム設定枠の移動

枠移動

ズーム設定枠の回転

枠回転

※「写真コピー」では回転できません。

決定

設定一覧

モード一覧

電源
ズーム/表示切替
モード
仕上がりview
モード
コピー
ファクス
写真の印刷
OK 決定
印刷枚数
OK
メニュー
戻る
Auto
自動受信/スペース
BS
短縮ダイヤル/グループダイヤル/削除
リダイヤル/ポーズ
ストップ/設定クリア
スタート

コピー ☞11 ページ
モード
コピー
ファクス
写真の印刷
OK 決定

写真の印刷 ☞12 ページ
モード
写真の印刷
コピー
スキャン
OK 決定

スキャン ☞13 ページ
モード
スキャン
写真の印刷
データ保存
OK 決定

データ保存 ☞13 ページ
モード
データ保存
スキャン
ノート罫線印刷
OK 決定

ノート罫線印刷 ☞66 ページ
モード
ノート罫線印刷
データ保存
セットアップ
OK 決定

セットアップ ☞14 ページ
モード
セットアップ
ノート罫線印刷
困ったときは
OK 決定

困ったときは
モード
困ったときは
セットアップ
ファクス
OK 決定

ファクス ☞15 ページ
モード
ファクス
困ったときは
コピー
OK 決定

コピーモードの設定メニュー

モード | コピー | メニュー（ボタン） | サブメニュー

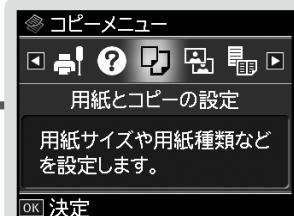
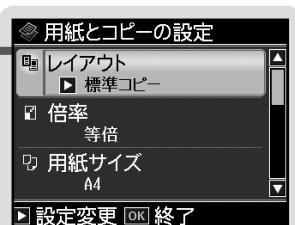
モード
コピー
ファクス
写真の印刷
OK 決定

27 ページ

標準コピー
コピー枚数 1 枚
カラー
モノクロ
コピー濃度
A4 普通紙
標準品質 等倍
コピー開始 設定変更

コピーメニュー
用紙とコピーの設定
用紙サイズや用紙種類などを設定します。
OK 決定

用紙とコピーの設定

用紙とコピーの設定
レイアウト
標準コピー
倍率
等倍
用紙サイズ
A4
設定変更 OK 終了

- レイアウト
- 倍率
- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 原稿種
- 印刷品質
- フチなしはみ出し量

写真コピー

32 ページ

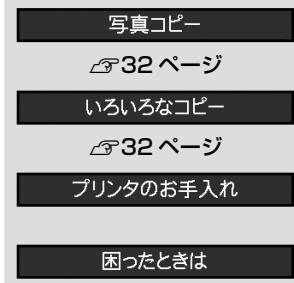
いろいろなコピー

32 ページ

いろいろなコピー
標準コピー
OK 決定 機能説明

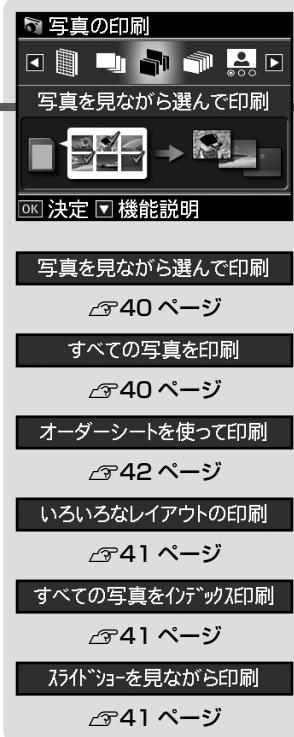
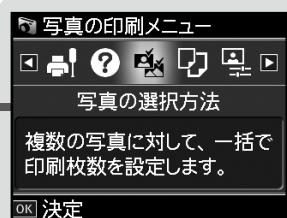
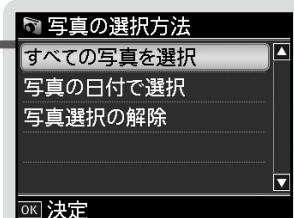
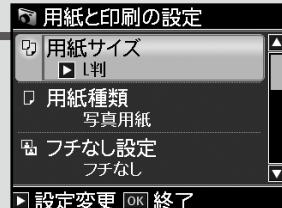
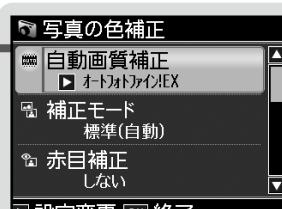
- 標準コピー
- フチなしコピー
- 2 アップ

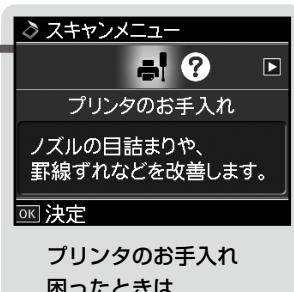
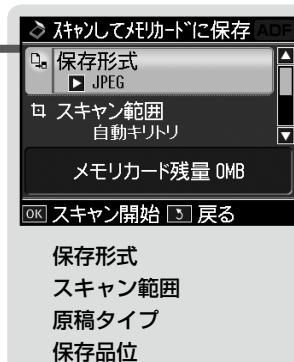
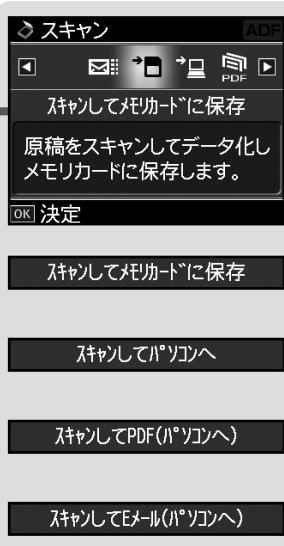
プリンタのお手入れ

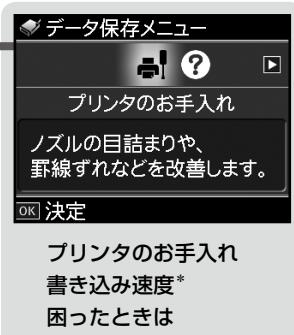
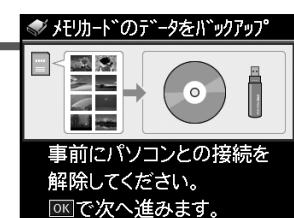
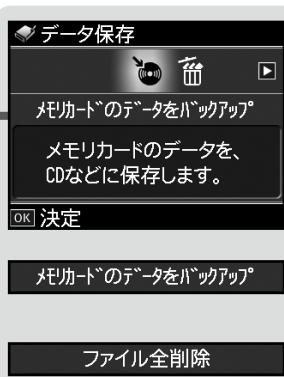
困ったときは

写真の印刷モードの設定メニュー

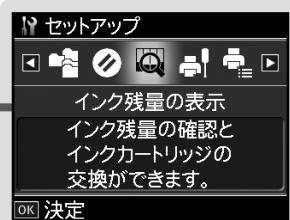
組み合わせによっては設定できない項目もあります。

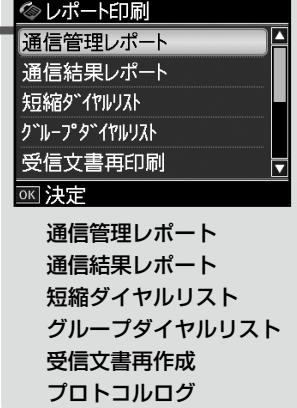
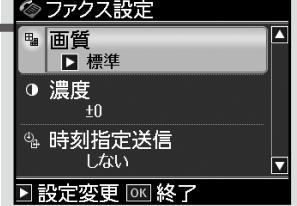
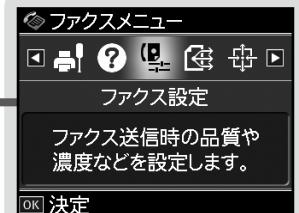
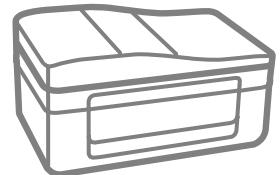
モード	写真の印刷	メニュー（ボタン）	サブメニュー

☞33 ページ

スキャンモードの設定メニュー

☞62 ページ

データ保存モードの設定メニュー

☞64 ページ

＊：CD/DVD ドライブを接続したときのみ表示

セットアップモードの設定メニュー

ファクスモードの設定メニュー

☞45 ページ

印刷用紙・メモリカード・原稿のセット

この章では、印刷用紙や原稿などのセット方法について説明しています。

●各メディアのセット方法

印刷用紙
☞18 ページ

メモリカード
☞22 ページ

原稿
☞24 ページ

使用できる印刷用紙・原稿

印刷用紙

エプソン製専用紙（純正用紙）

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

	用紙名称・特長	サイズ	セット可能枚数	印刷できる面
写真用紙	**写真用紙クリスピア＜高光沢＞** 【プロ仕様】 かつてない光沢感と透明感あふれる白さ、重厚な質感を実現した写真用紙です。	L 判 KG サイズ 2L 判 六切 A4	20 枚[*1]	より光沢のある面
	写真用紙＜光沢＞ 【スタンダード】 美しい光沢感のある仕上がりが魅力の写真用紙です。高い保存性を実現し、長期間色あせにくい写真プリントが可能です。	L 判 KG サイズ 2L 判 ハイビジョンサイズ 六切 A4	20 枚[*1]	
	写真用紙エントリー＜光沢＞ 【お得】 鮮やかな画質でたくさんプリントするのに最適な写真用紙です。	L 判 KG サイズ 2L 判 A4	20 枚[*1]	
	写真用紙＜絹目調＞ 光沢を抑えた落ち着いた風合いの写真用紙です。	L 判 2L 判 A4	20 枚[*1]	
光沢紙	**フォト光沢紙** 光沢感のある、おてごろ価格の用紙です	A4	20 枚	より光沢のある面
普通紙	**両面上質普通紙＜再生紙＞** ビジネス文書の作成時などに役立つ両面印刷が可能なインクジェットプリンタ用の普通紙（古紙 100% 配合の再生紙）です。	A4	80 枚[*2]	両面
その他の用紙	**スーパーファイン専用ハガキ** 写真入りのハガキ印刷に適した、ハガキサイズのマット紙です。	ハガキ	50 枚	両面
	スーパーファイン紙 写真入り文書やホームページの印刷など、いろいろに使える用紙です。	A4	80 枚	より白い面
	フォトマット紙 光沢のない落ち着いた質感で、耐久性・耐光性に優れたマット紙です。	A4	20 枚	
	スーパーファイン専用ラベルシート ステッカーが作れる全面シールで自由にカットして使えます。	A4	1 枚	白い面

＊ 1： 印刷結果がこすれたりムラになったりするときは、1 枚ずつセットしてください。　（2008 年 10 月現在）

＊ 2： 手動両面印刷時は 30 枚までです。

市販の用紙

	用紙名称	サイズ	セット可能枚数	印刷できる面	備考
普通紙	コピー用紙 事務用普通紙	A6・A5・B5・A4・Letter・Legal *1	エッジガイドの▼マークまで	両面	• 以下の範囲内 坪量： 64～90g/m^2 厚さ： 0.08～0.11m • 再生紙はにじむことがあります
		ユーザー定義サイズ	1 枚		
ハガキ	郵便ハガキ *2 郵便ハガキ(インクジェット紙) *2	ハガキ	50 枚	両面	–
	往復ハガキ *2	往復ハガキ	30 枚		折り目がないもの
封筒	封筒	長形３号 *3・４号 *3	10 枚	両面	–
		洋形１号・２号・３号・４号		宛名面のみ	

×：セット（印刷）できません。　　　　（2008 年 10 月現在）

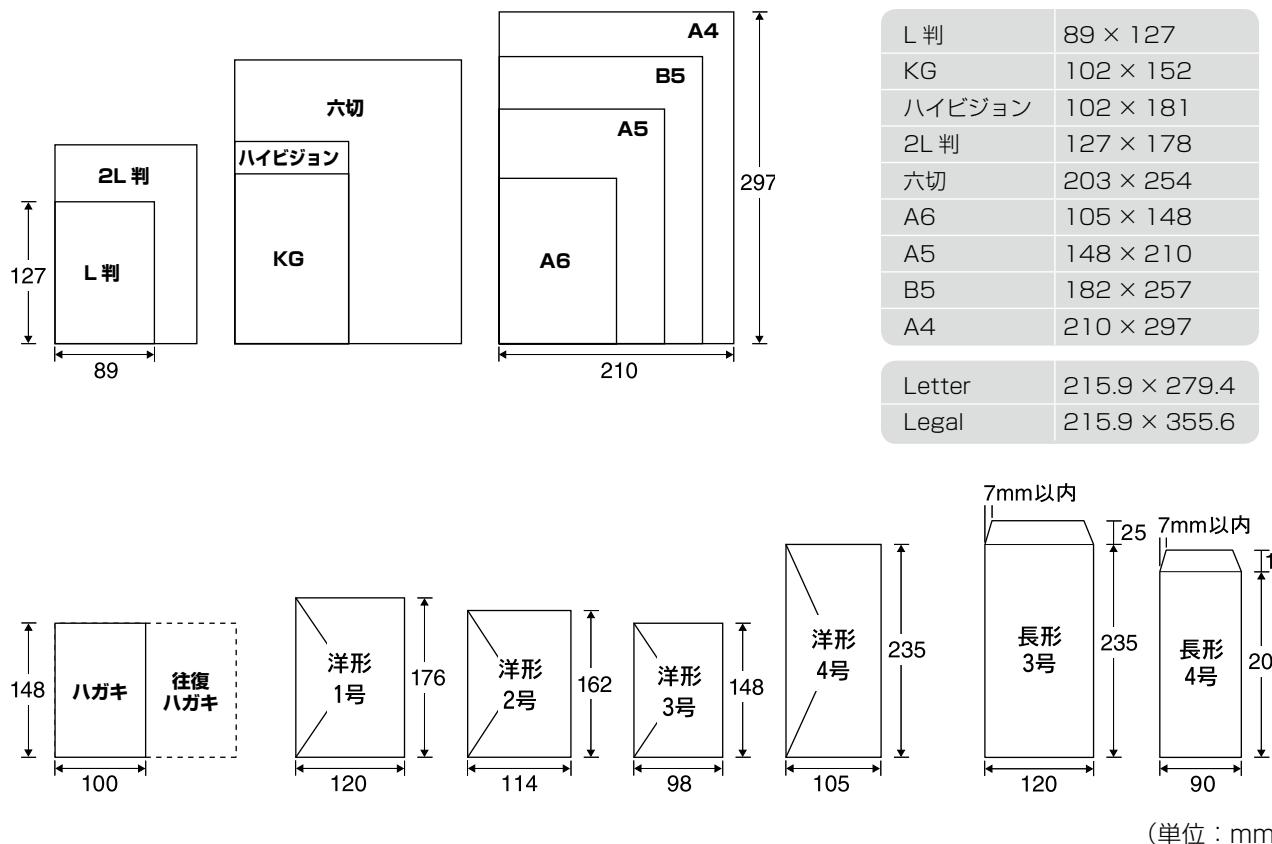
＊１：Legal サイズのセット可能枚数は 1 枚です。
＊２：郵便事業株式会社製
＊３：Windows のみ使用可能です。

使用できる定形紙・封筒のサイズ

L 判	89 × 127
KG	102 × 152
ハイビジョン	102 × 181
2L 判	127 × 178
六切	203 × 254
A6	105 × 148
A5	148 × 210
B5	182 × 257
A4	210 × 297

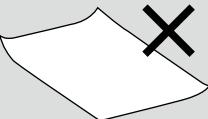
Letter	215.9 × 279.4
Legal	215.9 × 355.6

（単位：mm）

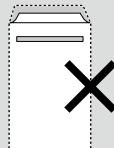
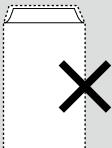
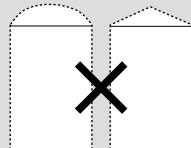
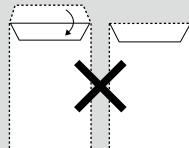
印刷用紙・メモリカード・原稿のセット

用紙をセットする前に

■ 使用できない用紙

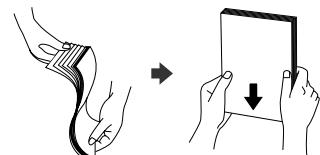
- 次のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

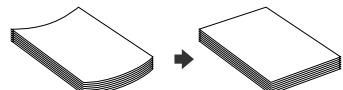
- 波打っている用紙
- 破れている用紙
- 切れている用紙

- 角が反っている用紙
- 折りがある用紙
- 一度折った往復ハガキ

- 丸まっている用紙
- 反っている用紙

- 写真を貼り合わせた厚いハガキ
- シールなどを貼った用紙
- 穴があいている用紙
- 湿った用紙

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒

- 二重封筒
- 窓付きの封筒

- フラップが円弧や三角形状の長形封筒

- フラップを一度折った長形封筒

■ 用紙の取り扱い

- 用紙のパッケージや取扱説明書などに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙は必要な枚数だけを取り出し、残りは用紙のパッケージに入れて保管してください。本製品にセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因になります。
- 用紙を複数枚セットするときは、右図のようによくさばいて紙粉を落とし、整えてからセットしてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面に傷が付くおそれがあります。
- 封筒は、よくさばいて端をそろえ、膨らんでいるときは膨らみを取り除きます。

■ ハガキに両面印刷するときは

片面に印刷後しばらく乾かし、反りを修正して平らにしてからもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。

原稿（オートドキュメントフィーダへのセット時）

■ セットできる原稿

A4 サイズの普通紙

■ 使用できない原稿

次のような原稿はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 折り目やしわのある原稿
- 破れている原稿
- 反っている原稿
- のり・ステープラー・クリップなどが付いた原稿

- 形が不規則な原稿・裁断角度が直角でない原稿
- 写真・シール・ラベルなどを貼った原稿
- ルーズリーフなど多穴の原稿
- とじられている（製本されている）原稿

- 裏カーボンのある原稿
- 薄すぎる原稿・厚すぎる原稿
- 透明・半透明な原稿（OHP シートなど）
- 光沢のある原稿
- 劣化した原稿

■ 原稿の取り扱い

- 複数枚の原稿をセットするときは、整えてからセットしてください。
- 原稿を継ぎ足してセットしないでください。

印刷用紙のセット

1 用紙サポートを開いて、引き出す

①
②

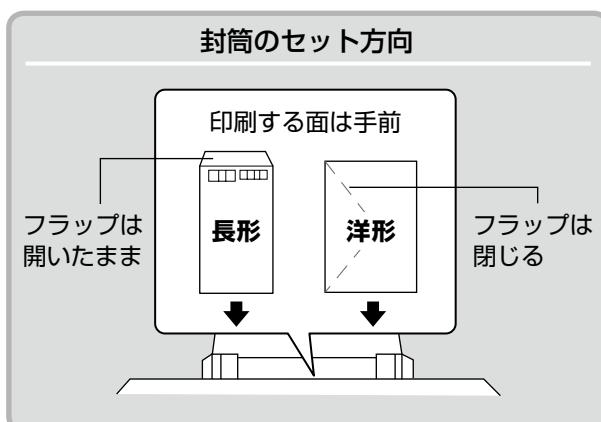
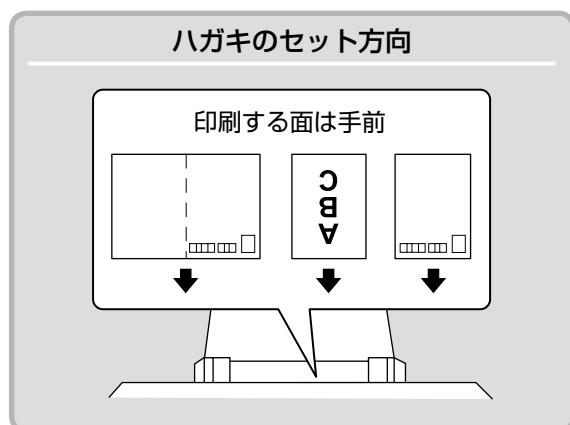
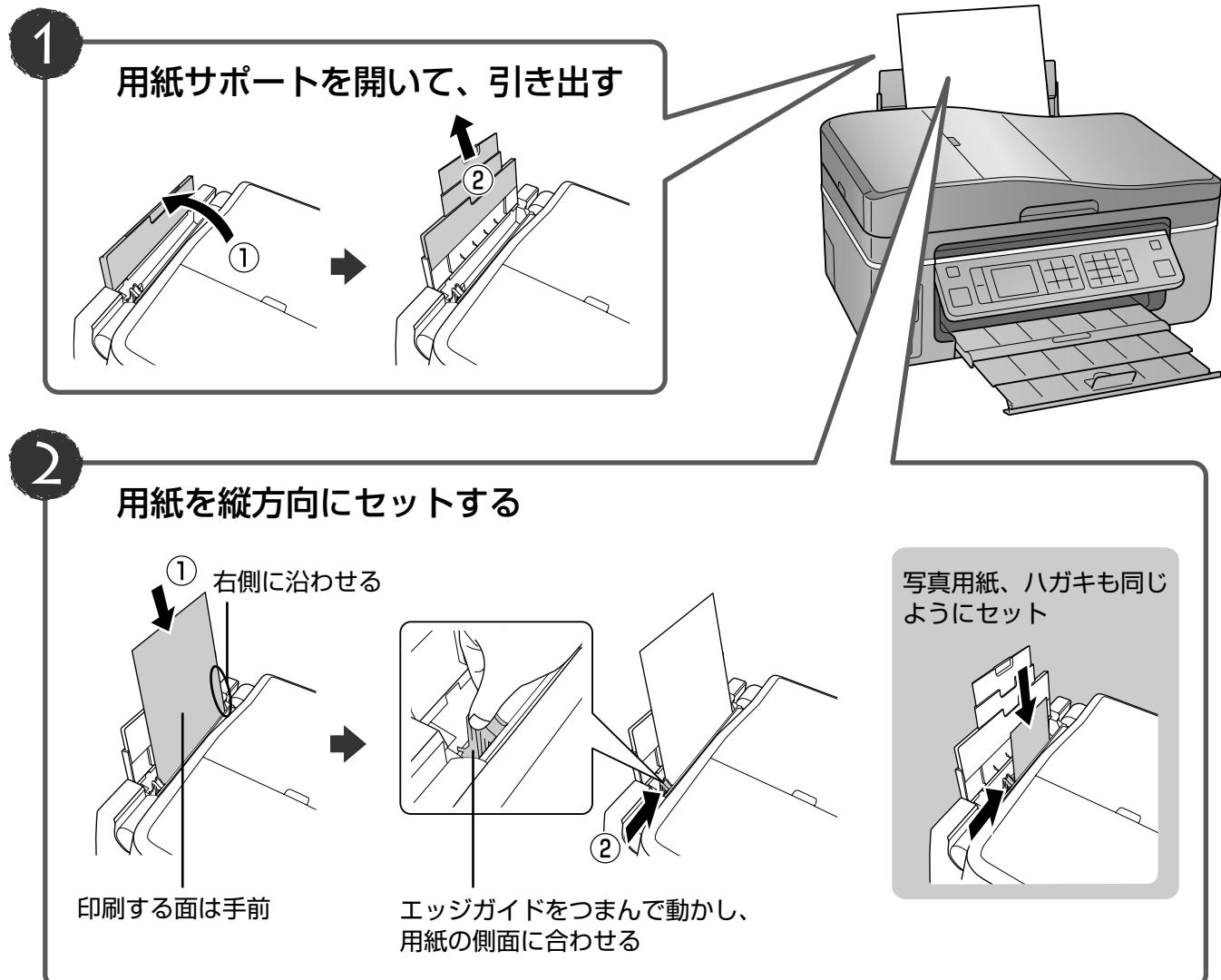
2 用紙を縦方向にセットする

① 右側に沿わせる

印刷する面は手前

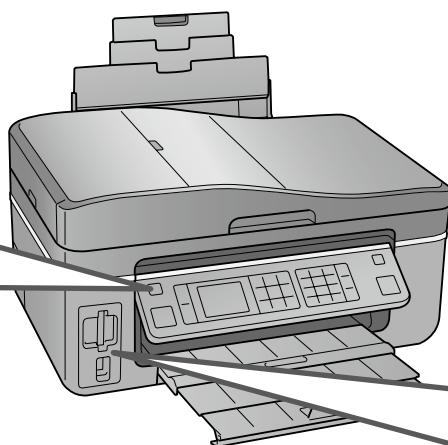
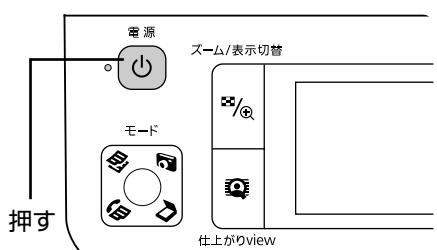
エッジガイドをつまんで動かし、
用紙の側面に合わせる

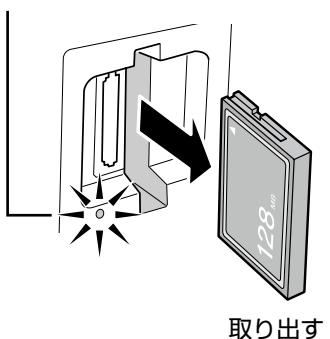
②

写真用紙、ハガキも同じようにセット

メモリカードのセットと取り出し

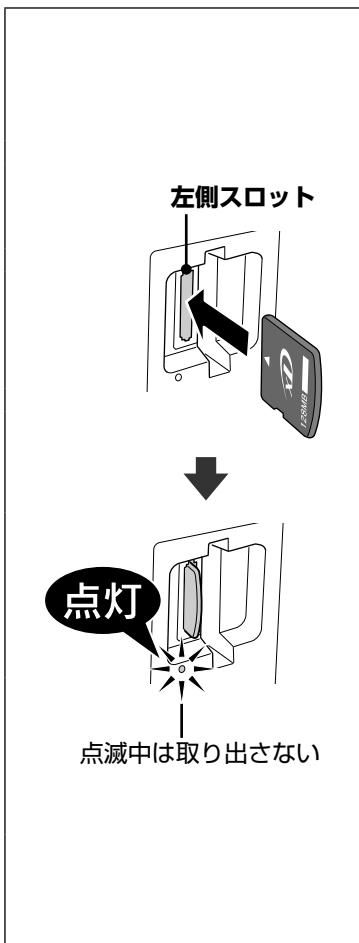
メモリカードのセット

!重要

- ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- メモリカードは 1 枚だけセットしてください。複数のメモリカードを同時にセットすると、正常に認識されないことがあります。
- 対応のメモリカードは 2008 年 10 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページの「よくあるご質問（FAQ）」でご確認ください。
  ＜ http://www.epson.jp/faq/ ＞

メモリカードの取り出し

取り出し方は、左・右スロットともに同じです。

!重要

パソコンでメモリカードドライブとして使用しているときは、以下を参照して取り出してください。
☞『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「メモリカードドライブとしての使い方（USB）」

2 メモリカードを 1 枚だけ挿入する

セット位置	使用できるメモリカードの種類
左側スロット	xD-Picture Card ™ xD-Picture Card ™ Type H xD-Picture Card ™ Type M xD-Picture Card ™ Type M +
	メモリースティック メモリースティック PRO マジックゲートメモリースティック
	SD メモリーカード SDHC メモリーカード マルチメディアカード マルチメディアカードプラス

挿入方向

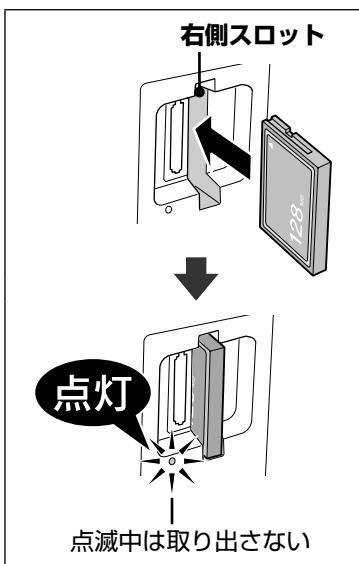
上記カードのサイズにする専用アダプタに装着してセット

※装着せずに挿入すると、カードが取り出せなくなるおそれがあります。

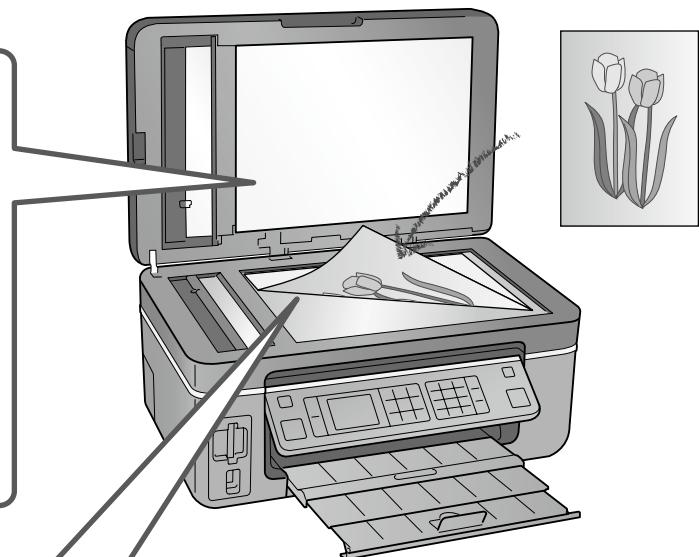
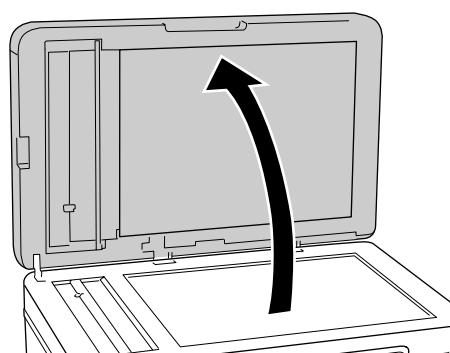
- メモリースティック Duo
- メモリースティック PRO Duo
- メモリースティック PRO HG Duo
- マジックゲートメモリースティック Duo
- メモリースティック マイクロ
- miniSD カード
- miniSDHC カード
- microSD カード
- microSDHC カード
- マルチメディアカードマイクロ
- マルチメディアカードモバイル

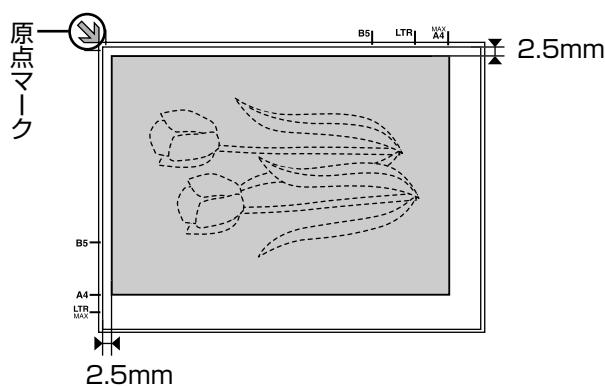
挿入方向

コンパクトフラッシュ

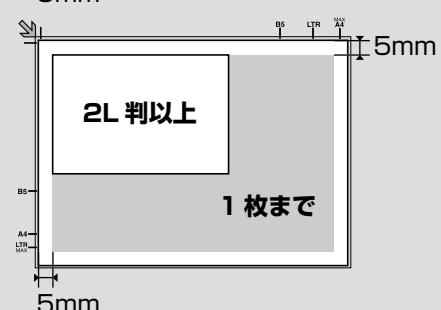
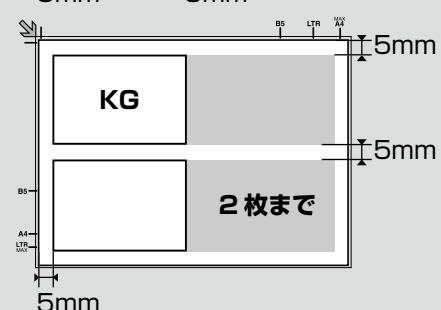
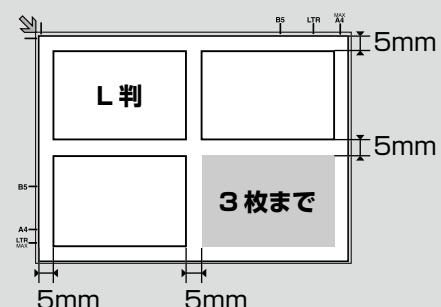
マイクロドライブ

原稿のセット

原稿台へのセット

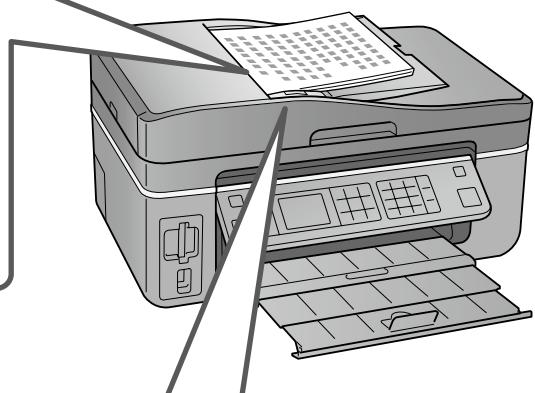
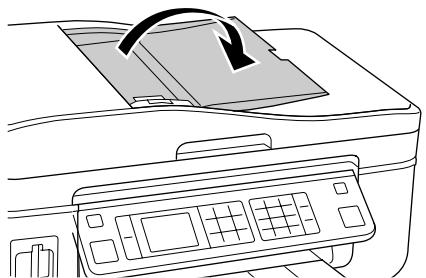
1 原稿カバーを開ける

2 原稿をセットして、カバーを閉じる

スキャンする面を下にして、図のようにセット

!重要

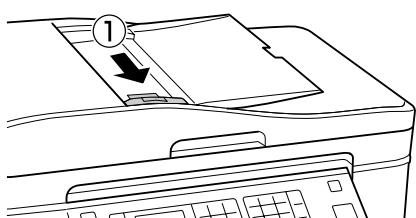
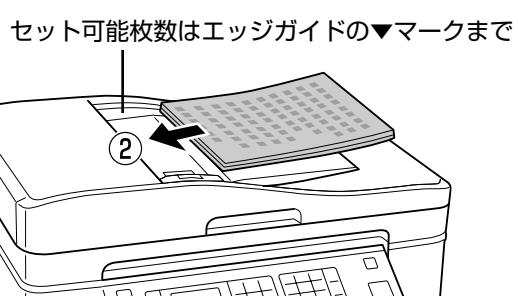
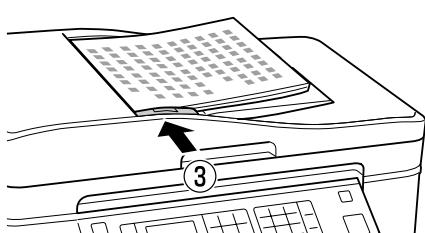
- 原稿をセットする前に、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。
- コピーが終了したら、原稿を取り出してください。原稿を長時間セットしたままにすると原稿台に貼り付くおそれがあります。

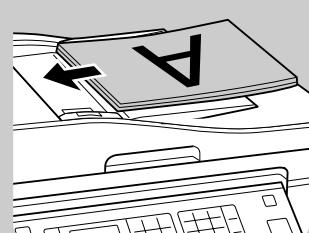
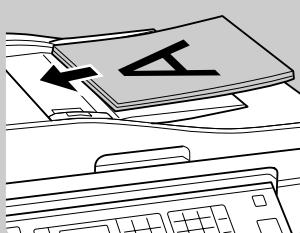
写真コピー機能を使う場合

※ 正常にコピーできないときは、1 枚ずつセットしてください。

オートドキュメントフィーダへのセット

1 オートドキュメントフィーダを開ける

2 原稿をセットする

エッジガイドを広げる

セット可能枚数はエッジガイドの▼マークまで

スキャンする面を上にしてセット

エッジガイドを原稿の側面に合わせる

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピー(2 アップ)するときは、原稿の向きを下図のようにセット

※ コピー後のイメージは、以下のページをご覧ください。
☞30 ページ「コピー設定の変更」

!重要

原稿は継ぎ足してセットしないでください。継ぎ足してセットすると紙詰まりの原因になります。

印刷時の［用紙種類］の設定

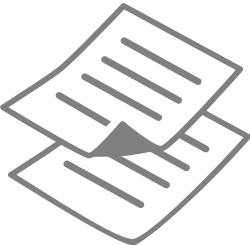
最適な印刷結果を得るためには、印刷用紙に適した［用紙種類］の設定をしてください。

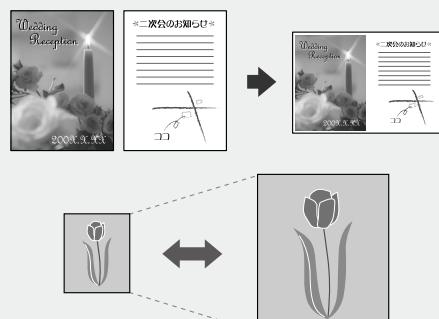
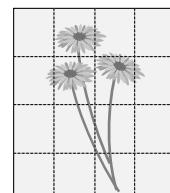
<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">用紙名称</th><th colspan="3">［用紙種類］の設定</th></tr>
<tr><th>コピー</th><th>写真の印刷</th><th>パソコンから印刷</th></tr>
<tr><td rowspan="3">写真用紙</td><td>写真用紙クリスピア
＜高光沢＞</td><td colspan="2">EPSON クリスピア</td><td>EPSON 写真用紙クリスピア</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜光沢＞
写真用紙＜絹目調＞</td><td colspan="2">写真用紙</td><td>EPSON 写真用紙</td></tr>
<tr><td>写真用紙エントリー＜光沢＞</td><td colspan="2">写真用紙エントリー</td><td>EPSON 写真用紙エントリー</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>フォト光沢紙</td><td colspan="2">フォト光沢紙</td><td>EPSON フォト光沢紙</td></tr>
<tr><td>普通紙</td><td>両面上質普通紙＜再生紙＞
コピー用紙・事務用普通紙</td><td colspan="2">普通紙</td><td>普通紙</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ハガキ</td><td>郵便ハガキ[*1]</td><td colspan="2">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：普通紙</td></tr>
<tr><td>往復ハガキ[*1]</td><td colspan="2">×</td><td>普通紙</td></tr>
<tr><td>郵便ハガキ
（インクジェット紙）[*1]</td><td colspan="2">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便 IJ ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：郵便ハガキ
（インクジェット紙）</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用ハガキ</td><td colspan="2">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便 IJ ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：EPSON スーパーファイン紙</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>封筒</td><td colspan="2">×</td><td>封筒[*2]</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他の
用紙</td><td>フォトマット紙</td><td colspan="2">フォトマット紙</td><td>EPSON フォトマット紙</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン紙</td><td>スーパーファイン紙</td><td>×</td><td>EPSON スーパーファイン紙</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用
ラベルシート</td><td>スーパーファイン紙</td><td>×</td><td>EPSON スーパーファイン紙</td></tr>
</table>

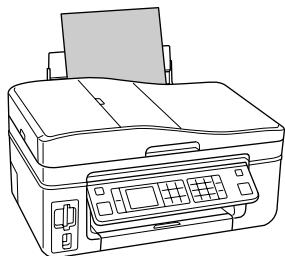
×：セット（印刷）できません。

＊1：郵便事業株式会社製

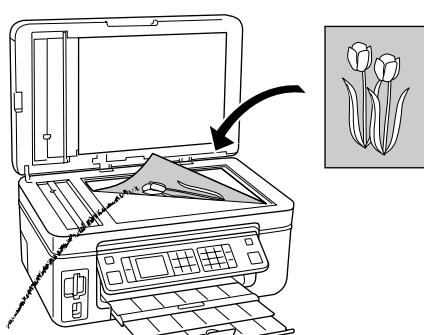
＊2：長形3号・4号封筒は、Windows パソコンからの印刷のみに対応（Mac OS X は非対応）

コピー

この章では、コピーの方法について説明しています。

まずは**基本**操作を覚えよう!!

●こんなこともできます（便利なコピー機能）

コピーの基本①
―操作の流れ―

1 印刷用紙をセット

☞21 ページ「印刷用紙のセット」

2 排紙トレイを引き出す

3 原稿をセット

操作

1 電源オン

電源
ズーム/表示切替
モード
モード
コピー
ファクス
OK 決定
仕上がりview

2 基本設定

<モード>

モード
コピー
ファクス
写真の印刷
OK 決定

① [コピー]
選択

② 決定

<コピー色>

標準コピー
ADF
コピー枚数 1 枚
カラー
モノクロ
コピー濃度
A4 普通紙
標準品質 等倍
コピー開始 設定変更

③ 選択

印刷枚数

－ ▲ ＋
◀ OK ▶
≡ ▼ ↺

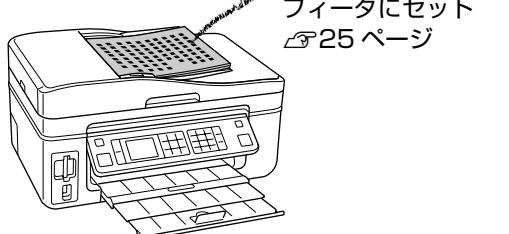
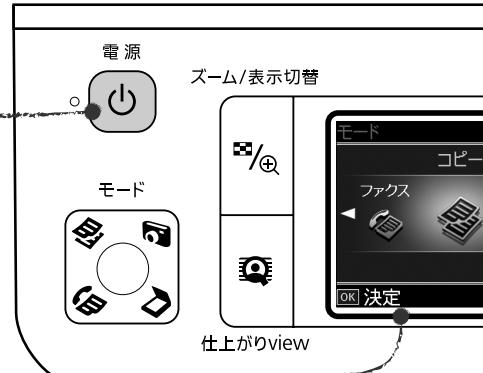
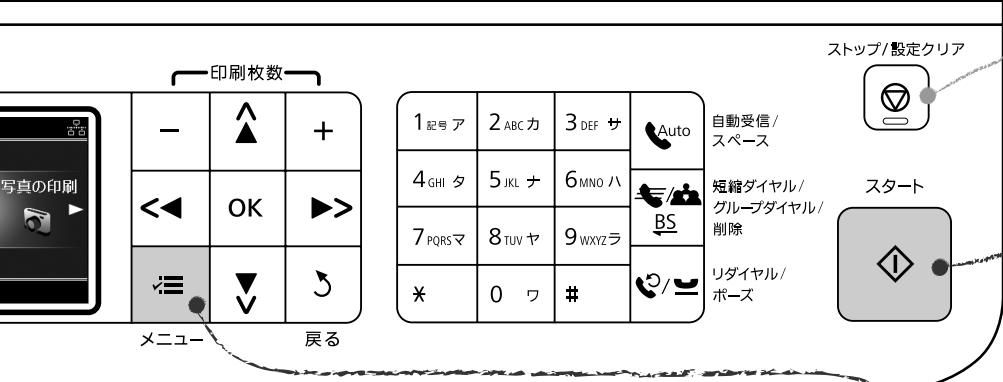
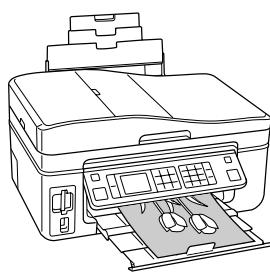
メニュー　戻る

1 記号 ア　2 ABC カ　3 DEF サ　自動受信/スペース
4 GHI タ　5 JKL ナ　6 MNO ハ　短縮ダイヤル/グループダイヤル/削除 BS
7 PQRS マ　8 TUV ヤ　9 WXYZ ラ　リダイヤル/ポーズ
＊　0 ワ　＃

写真の印刷

ストップ/設定クリア

設定を購入時の状態に戻す

スタート

4 コピー開始

コピー終了後、【モード】ボタンを押すと、モード選択画面に戻ります。

3 コピー設定の変更（≡ を押す）

コピーメニュー
用紙とコピーの設定
用紙サイズや用紙種類などを設定します。
OK 決定

① ［用紙とコピーの設定］選択

② 決定

用紙とコピーの設定
レイアウト
▶ 標準コピー
倍率
等倍
用紙サイズ
A4
▶ 設定変更 OK 終了

③ 項目選択

④ 設定値表示

レイアウト
標準コピー
フチなしコピー
A4原稿を2アップ
OK 決定 ↺ 戻る

⑤ 設定値選択

⑥ 決定

⑦ 終了

詳しくは ☞30 ページ「コピー設定の変更」

<コピー濃度>

標準コピー ADF
コピー枚数 －＋ 1 枚
カラー　コピー濃度
モノクロ
A4　普通紙
標準品質　等倍
コピー開始　設定変更

④ 選択

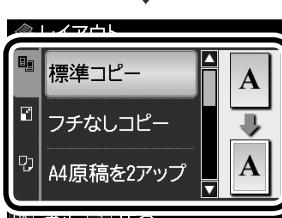
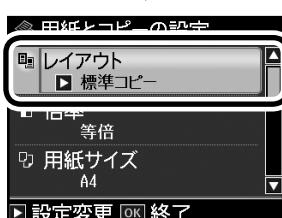
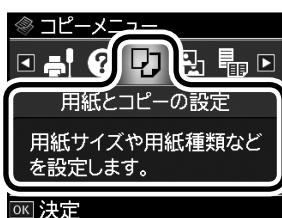
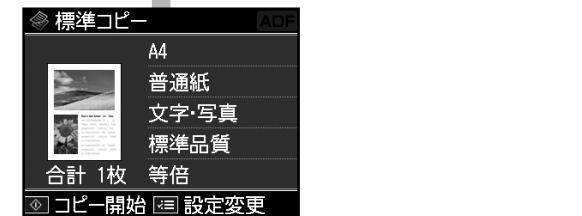
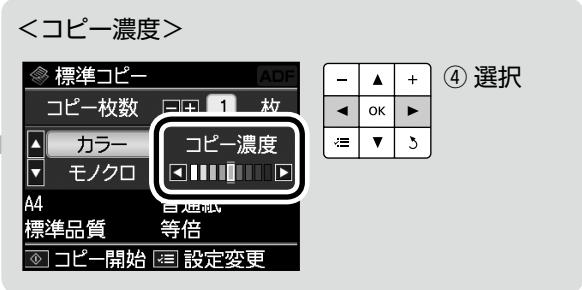
<コピー枚数>

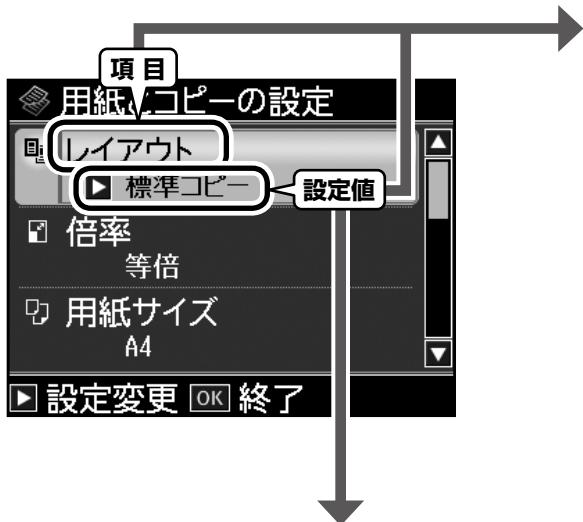
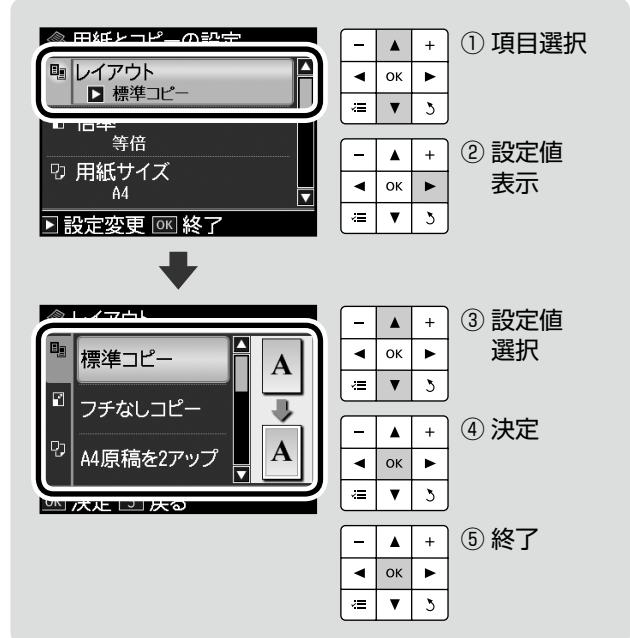
標準コピー ADF
コピー枚数 －＋ 1 枚
カラー　コピー濃度
モノクロ
A4　普通紙
標準品質　等倍
コピー開始　設定変更

⑤ 設定

⑥ 決定

標準コピー ADF
A4
普通紙
文字・写真
標準品質
合計 1枚　等倍
コピー開始　設定変更

コピー

コピーの基本②
－コピー設定の変更－

29 ページ手順❸のコピー設定の変更では、用紙や倍率・レイアウトなどの設定を変更できます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

項目と設定値

※組み合わせによっては設定できない項目もあります。

倍率

コピー倍率を選択

※ オートフィット（原稿の文字や画像のある部分のみスキャンし、そのデータを用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小）
※ 定形倍率（A4 →ハガキ・2L 判→ハガキなど）
※ 任意の倍率を設定するときは、定形倍率を選択して【+】または【−】ボタンを押してください。

用紙サイズ

印刷品質

コピー品質を選択

設定	品質	速度
エコノミー*	低	速
標準品質	↕	↕
きれい	高	遅

＊：速度優先のため薄く印刷します。

用紙種類

用紙サイズに対応した種類だけが表示されます。

セットした用紙	設定
両面上質普通紙<再生紙>・事務用普通紙	普通紙
写真用紙クリスピア<高光沢>	EPSON クリスピア
写真用紙<光沢>・写真用紙<絹目調>	写真用紙
写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙エントリー
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォトマット紙	フォトマット紙
スーパーファイン紙・スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面・スーパーファイン専用ハガキの通信面	郵便 IJ ハガキ
郵便ハガキ・ハガキの宛名面	郵便ハガキ

フチなしはみ出し量

フチなしコピー時のはみ出し量を選択

少し欠けます

標準

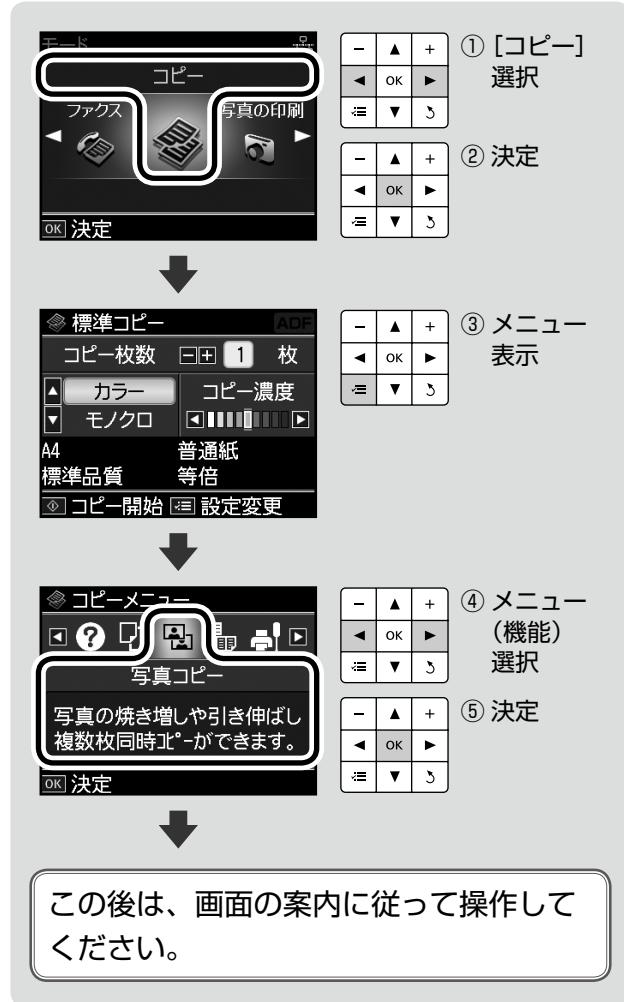
少ない

より少ない

フチなしコピーは、余白をなくすために少し拡大して印刷します。［少ない］・［より少ない］を選択すると、余白が出ることがあります。

便利なコピー機能

写真コピーや 2 アップコピーなどができます。画面に案内が表示されるので、操作は簡単です。
機能について詳しくは右側をご覧ください。

操作方法

写真コピー

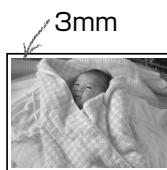
写真の焼き増し・引き伸ばしを簡単にできます。
また、L 判写真などを複数枚同時にコピーすることもできます。

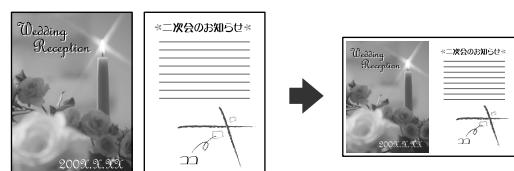
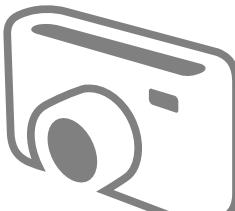
焼き増し

用紙サイズを変更して引き伸ばし

※ 写真をズームアップしてコピーできます。
☞9 ページ「写真のズーム設定」
※ コピーできる原稿の最小サイズは 30 × 40mm です。
※ 余白（フチ）のある写真や、周囲に白い部分のある写真は、原稿が認識されないことがあります。
※ 原稿のセットについて詳しくは、以下のページをご覧ください。
☞24 ページ「原稿のセット」

いろいろなコピー

標準コピー
余白ありでコピーできます。

フチなしコピー
余白なしでコピーできます。

2 アップ
2 枚の原稿（A4・B5 サイズ）を、1 枚の用紙（A4 サイズ）にコピーできます。

写真の印刷

この章では、メモリカードから写真を印刷する方法について説明しています。

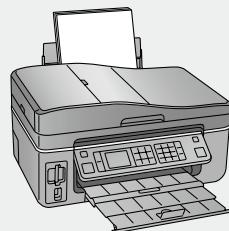
まずは基本操作を覚えよう !!

操作の流れ

準備 用紙セット・メモリカードセット

操作 パネル設定

☞34 ページ

印刷設定の変更
（用紙サイズ・用紙種類など）

☞36 ページ

●こんなこともできます（便利な写真の印刷機能）

いろいろなレイアウトの印刷
☞41 ページ

オーダーシートを使って印刷
☞42 ページ

写真を見ながら選んで印刷
☞40 ページ

すべての写真をインデックス印刷
☞41 ページ

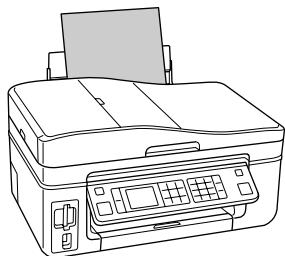
すべての写真を印刷
☞40 ページ

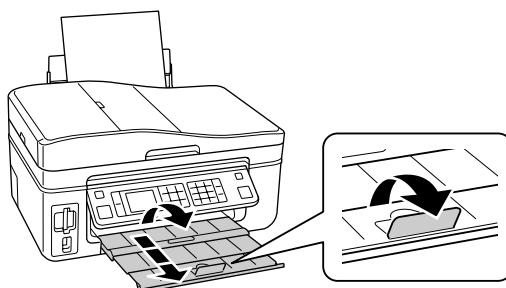
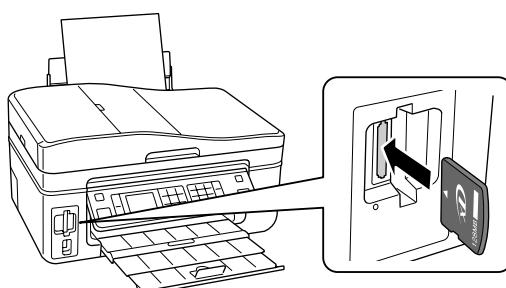
スライドショーを見ながら印刷
☞41 ページ

※操作方法は ☞40 ページ

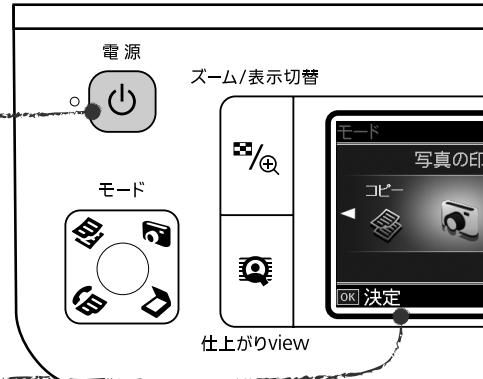
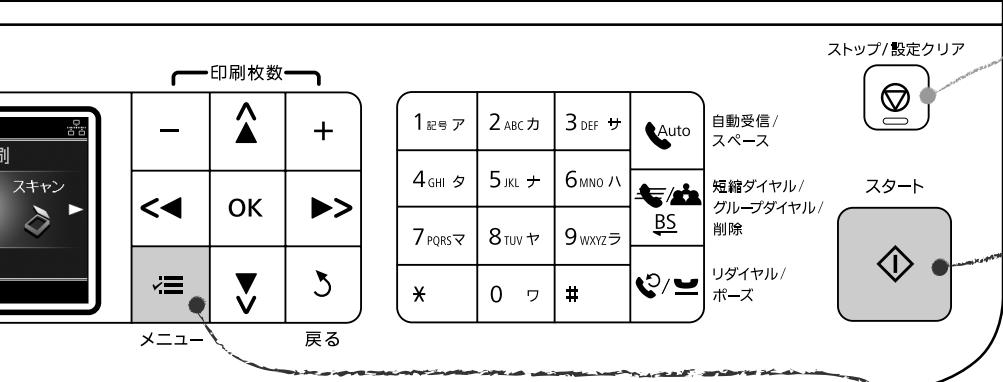
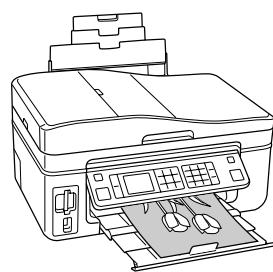
写真の印刷の基本①
ー操作の流れー

準備

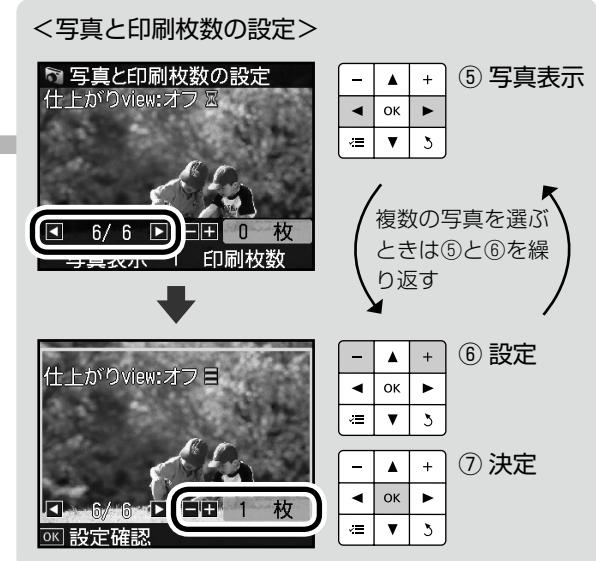
1 印刷用紙をセット

☞21 ページ「印刷用紙のセット」

2 排紙トレイを引き出す

3 メモリカードをセット

☞22 ページ「メモリカードのセット」

操作

1 電源オン

4 印刷開始

印刷終了後、【モード】ボタンを押すと、モード選択画面に戻ります。

3 印刷設定の変更（ を押す）

［用紙と印刷の設定］・［写真の色補正］メニューを設定

詳しくは 36ページ「印刷設定の変更」

写真の印刷

写真の印刷の基本②
－印刷設定の変更－

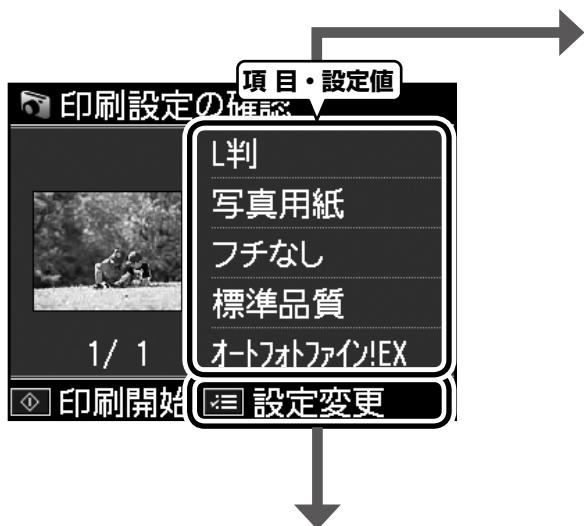
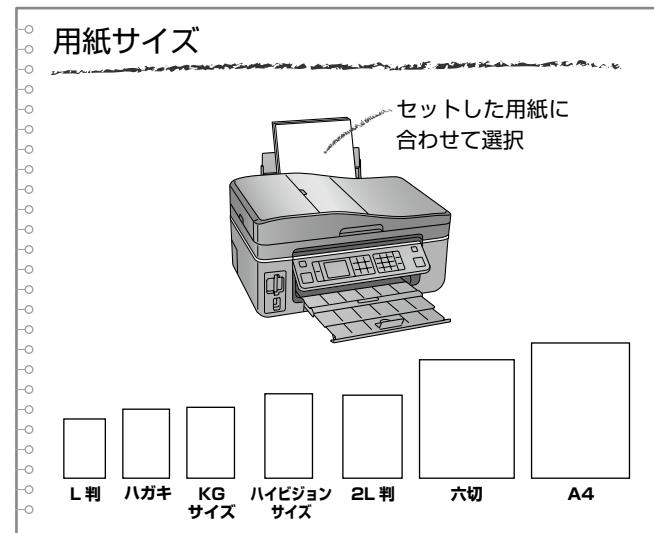
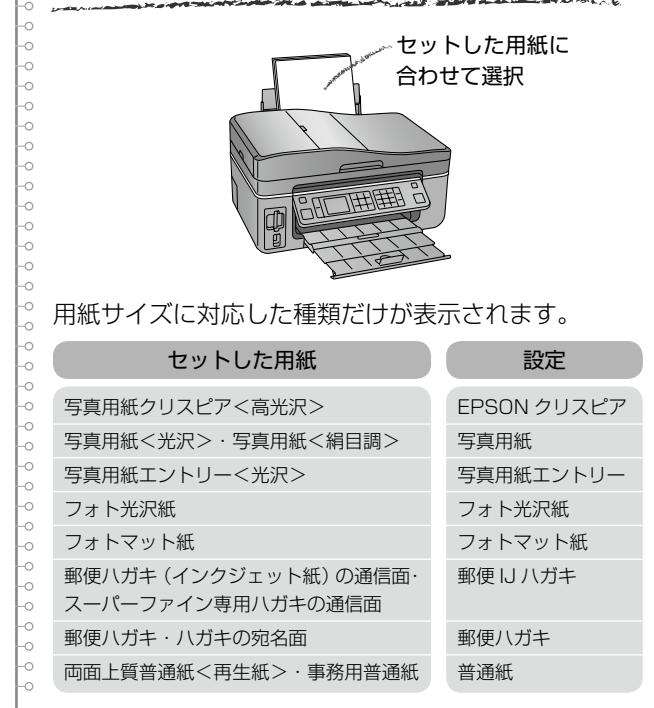
35 ページ手順❸の印刷設定の変更では、用紙や印刷品質・写真の色補正などの設定を変更できます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

項目と設定値

[用紙と印刷の設定]

用紙サイズに対応した種類だけが表示されます。

セットした用紙	設定
写真用紙クリスピア<高光沢>	EPSON クリスピア
写真用紙<光沢>・写真用紙<絹目調>	写真用紙
写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙エントリー
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォトマット紙	フォトマット紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面・スーパーファイン専用ハガキの通信面	郵便 IJ ハガキ
郵便ハガキ・ハガキの宛名面	郵便ハガキ
両面上質普通紙<再生紙>・事務用普通紙	普通紙

※組み合わせによっては設定できない項目もあります。

つづく

フチなし設定

余白（フチ）のあり・なしを選択

フチなし　フチあり

印刷品質

印刷品質を選択

設定	品質	速度
標準品質	低	速
きれい	高	遅

フチなしはみ出し量

フチなし印刷時のはみ出し量を選択

フチなし印刷は、余白をなくすために少し拡大して印刷します。［少ない］・［より少ない］を選択すると、余白が出ることがあります。

双方向印刷

双方向印刷をする・しないを選択

［しない］を選択すると印刷速度は遅くなりますが、印刷品質が向上します。通常は［する］に設定してください。

日付表示

撮影日を印刷する・しないを選択

設定	印刷例
しない	－
年 . 月 . 日（する）	2005.05.26
月 . 日 . 年（する）	05.26.2005
日 . 月 . 年（する）	26.05.2005

※ パソコンで保存し直した（Exifの情報が削除された）データは保存日で印刷されます。
※ 一部のレイアウトでは日付が印刷されません。
※ 20 面では、自動的に日付が印刷されます。
※ ［スキャンしてメモリカードに保存］機能で保存されたデータでは、日付表示の設定は無効になります。

トリミング

用紙サイズに合わせてトリミングする・しないを選択

する

上下（または左右）が切り取られる

しない

左右（または上下）に余白ができる

※ パノラマ写真では設定が無効になることがあります。
※ フチなし・上半分・下半分のレイアウトでは、常にトリミングして印刷します。

項目と設定値

※組み合わせによっては設定できない項目もあります。

[写真の色補正]

自動画質補正・補正モード

写真画質の補正方法を選択

設定	内容
オートフォト ファイン !EX	写真データに合わせて最適な補正をして印刷します。エプソンお勧めの写真品質です。
P.I.M.	PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影したときに、写真データに付加されるプリント指示情報を基に補正して印刷します。
自動補正なし	補正せずに印刷します。

[オートフォトファイン !EX］選択時は補正モードも選択

標準（自動）

人物

風景

夜景

赤目補正

赤く撮影された目の色を補正

※ 画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されることがあります。

フィルタ

写真に加える特殊効果をセピア・モノクロから選択

明るさ調整・コントラスト・シャープネス・鮮やかさ調整

写真の色調を調整

設定	内容
明るさ調整	明るさを調整します。
コントラスト	明るい部分と暗い部分の差を調整します。
シャープネス	画像の輪郭を調整します。
鮮やかさ調整	鮮やかさを調整します。

写真の印刷の基本③ －写真の選択方法－

35 ページ手順❷の［写真と印刷枚数の設定］では写真を 1 枚ずつ選択しますが、すべての写真を選択するなど選択方法を変更できます。

操作方法

この後は、画面の案内に従って操作してください。

選択方法

すべての写真を選択

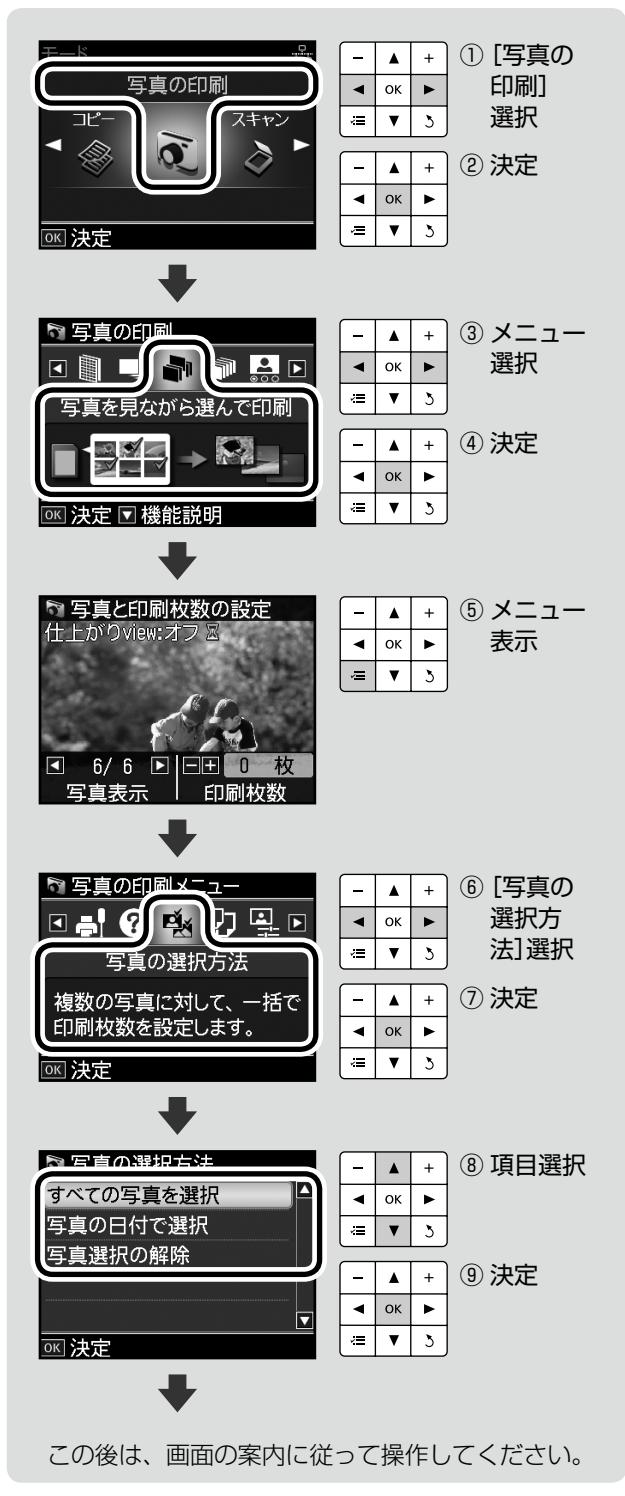
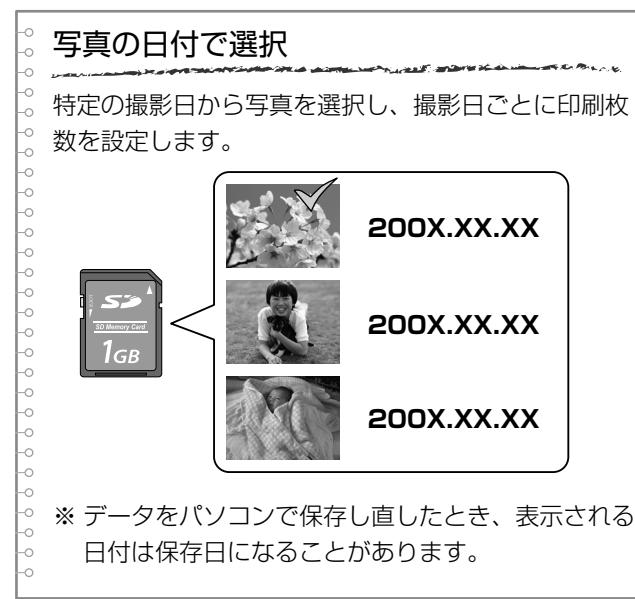
メモリカード内のすべての写真を選択し、一括で印刷枚数を設定します。

写真の日付で選択

特定の撮影日から写真を選択し、撮影日ごとに印刷枚数を設定します。

※ データをパソコンで保存し直したとき、表示される日付は保存日になることがあります。

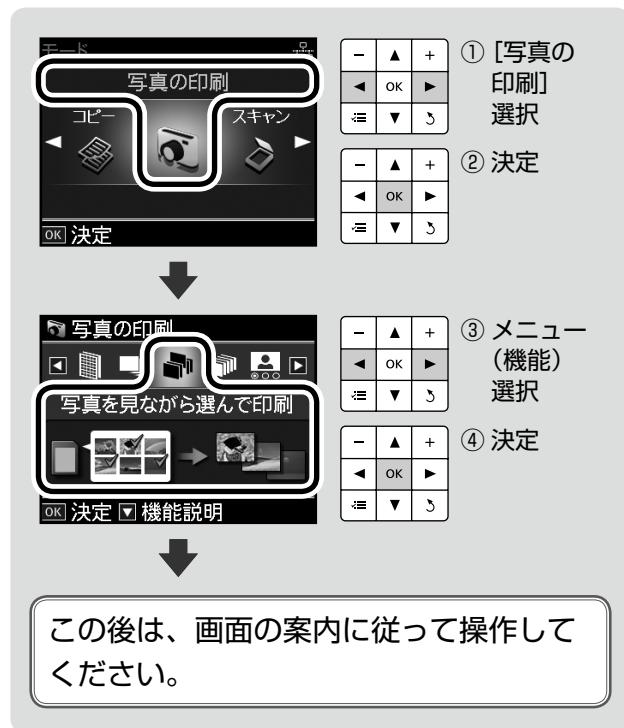
写真選択の解除

選択した写真の印刷枚数を 0 枚に戻します。

便利な写真の印刷機能

いろいろなレイアウトでの印刷や、オーダーシートを使っての印刷などができます。画面に案内が表示されるので、操作は簡単です。
機能について詳しくは右側をご覧ください。

操作方法

参考

非対応データは、写真表示画面に「？」が表示されます。複数面レイアウト（自動配置）やインデックス印刷・オーダーシート印刷などでは、非対応データが空白で印刷されます。

写真を見ながら選んで印刷

写真を 1 枚ずつ確認しながら選択して印刷できます。

34 ページ「写真の印刷の基本①」でも説明しています。

すべての写真を印刷

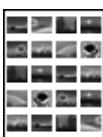
メモリカード内のすべての写真を印刷できます。

いろいろなレイアウトの印刷

いろいろな配置で写真を印刷できます。

2 面

4 面

8 面

20 面*1

上半分*2

下半分*2

楕円 -1 面

楕円 - 上半分

証明写真

A4 額縁サイズ

＊ 1： 各写真の下にコマ番号や日付が印刷されます。
＊ 2： ハガキ（年賀状）印刷時に使うと便利です。

参考

［いろいろなレイアウトの印刷］ の 2 面･4 面･8 面では、配置する位置を指定できます。

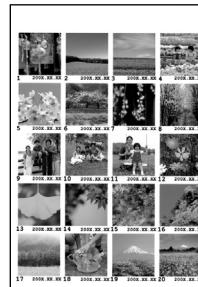
① 配置する写真を表示

② ［写真を配置］を選択

③ 決定

［空白を配置］ を選択して 【OK】 ボタンを押すと、写真の代わりに空白を挿入できます。
ただし、空白を配置するときは写真表示画面を「1 面・情報表示あり」に設定してください。
「1 面・情報表示なし」 や「9 面表示」 では空白を配置できません。

すべての写真をインデックス印刷

メモリカード内のすべての写真を一覧にして印刷できます。

スライドショーを見ながら印刷

メモリカード内の写真をスライドショーで確認しながら、選択して印刷できます。

【▽】か【△】ボタンでスライドショーを停止･再生します。【OK】ボタンを押すと写真を選択できます。

つづく

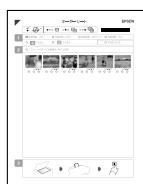
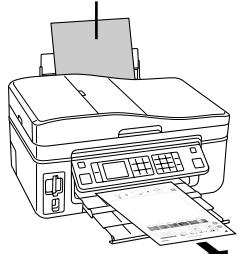
オーダーシートを使って印刷

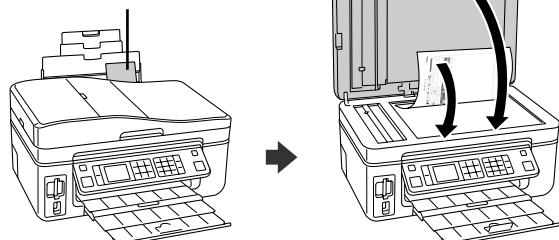
写真を一覧できるオーダーシートにマークを付けてそのシートをスキャンすると、簡単に写真を印刷できます。

操作の流れ

①オーダーシートを印刷

A4 サイズの普通紙をセットして印刷

※シートを別途購入する必要はありません。

②オーダーシートに記入

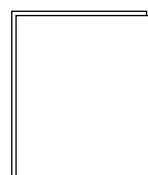
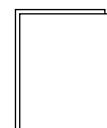
③オーダーシートをスキャンして写真を印刷

写真プリントのできあがり！

用意するもの

写真の入ったメモリカード

オーダーシートを印刷した後、写真の印刷が終了するまで、メモリカードの内容を変更しないでください。

HB などの濃い鉛筆か濃い色のペン

A4 サイズの普通紙（オーダーシート用）

印刷用紙（写真用）

オーダーシート印刷に対応した用紙は以下の通りです。

- 写真用紙クリスピア<高光沢>
- 写真用紙<光沢>
- 写真用紙<絹目調>

オーダーシートに記入

オーダーシートを印刷したら、下図を参考に記入してください。

マークの記入

HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンで記入してください。

正しい記入例
悪い記入例

①用紙サイズ・フチなし設定を選択

② 写真と枚数を選択

オーダーシート 1 枚には最大 30 枚の写真が印刷されます。

③ 図の案内に従ってオーダーシートと、印刷用紙をセットして印刷開始

その他の印刷機能

デジタルカメラで指定（DPOF）した写真を印刷

本製品は、デジタルカメラで画像を印刷するための情報（印刷する画像とその枚数の指定など）をメモリカードに記録する「DPOF（Digital Print Order Format）Ver.1.10」の印刷に対応しています。

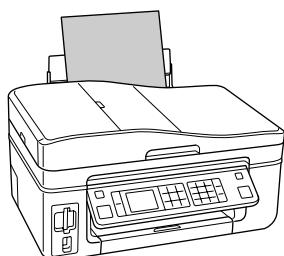
1 デジタルカメラで、DPOF印刷の指定をします。

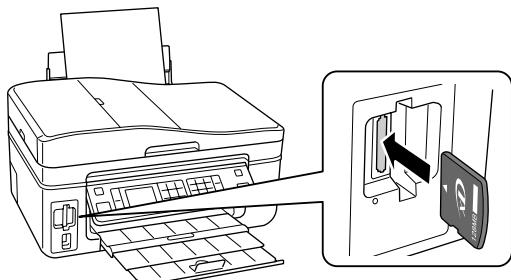
以下の印刷タイプで、印刷する写真や枚数などを設定します。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- スタンダードプリント
- インデックスプリント
  （コマ番号なしの 20 面などのレイアウトでカラー印刷）
- マルチイメージプリント

※ 印刷する写真や枚数以外の印刷設定は、手順 5 で設定します。

2 印刷用紙をセットします。

☞ 21 ページ「印刷用紙のセット」

3 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

☞ 22 ページ「メモリカードのセット」

4 表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。

この画面が表示されないときは、DPOF 情報が入っていないため DPOF 印刷はできません。

5 印刷設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押します。

☞ 36 ページ「印刷設定の変更」

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

ファクス

この章では、ファクスの送受信方法について説明しています。
ファクス機能を使うときは、**常に電源をオン**の状態にしておいてください。

まずはファクス送信の基本操作を覚えよう !!

操作の流れ

準備 原稿セット

操作 パネル設定

☞46 ページ

送信設定の変更
（画質・濃度など）

☞48 ページ

●便利なファクス送信機能

短縮ダイヤル送信
☞49 ページ

グループダイヤル送信
☞49 ページ

リダイヤル送信
☞49 ページ

順次同報送信
☞50 ページ

手動送信
☞51 ページ

●ファクス受信

自動受信
☞52 ページ

手動受信
☞53 ページ

ポーリング受信
☞54 ページ

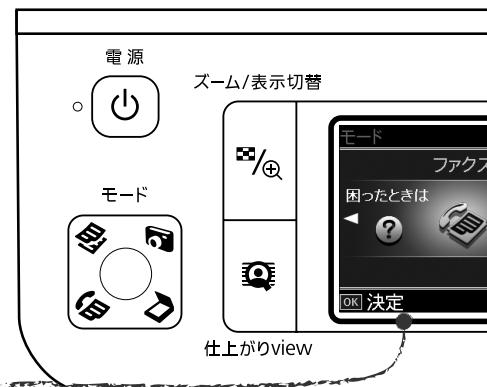
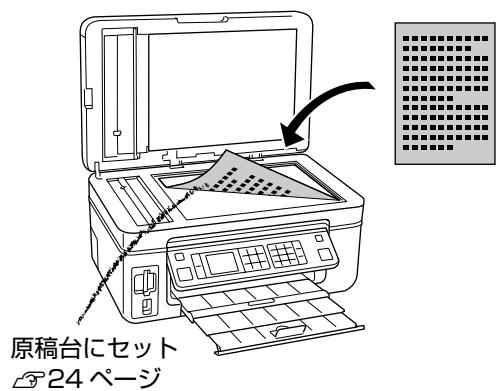
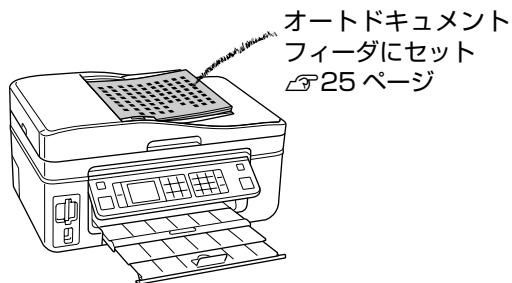
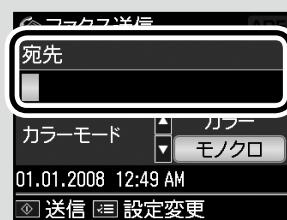
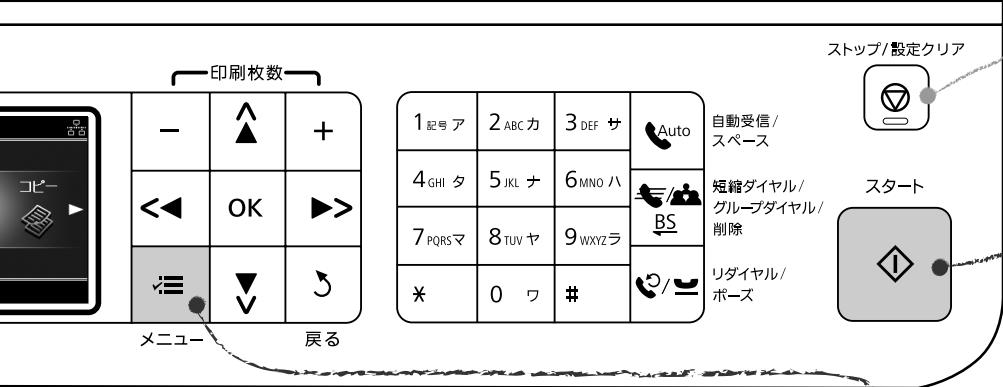
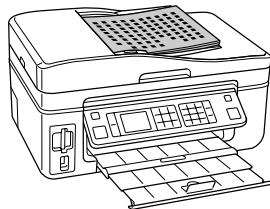
※パソコンに接続してパソコンからファクスを送信する「PC ファクス送信」はできません。

ファクス送信の基本①
ー操作の流れー

操作

原稿をセット

☞25 ページ

原稿台にセット
☞24 ページ

1 ファクス送信設定

できあがり!!

設定を購入時の状態に戻す

3 送信開始

送信終了後、【モード】ボタンを押すと、モード選択画面に戻ります。

2 送信設定の変更（を押す）

① [ファクス設定]選択

② 決定

③ 項目選択

④ 設定値表示

⑤ 設定値選択

⑥ 決定

⑦ 終了

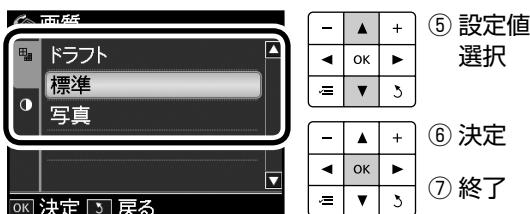
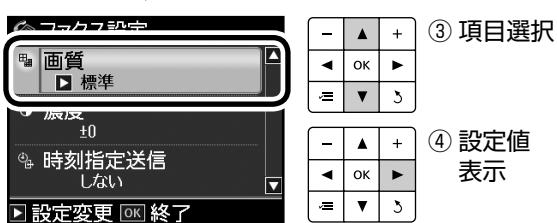
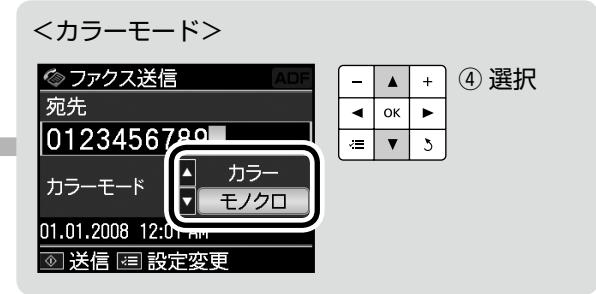
<カラーモード>

④ 選択

ファクス送信
宛先
0123456789
カラーモード カラー モノクロ
01.01.2008 12:01 AM
送信 設定変更

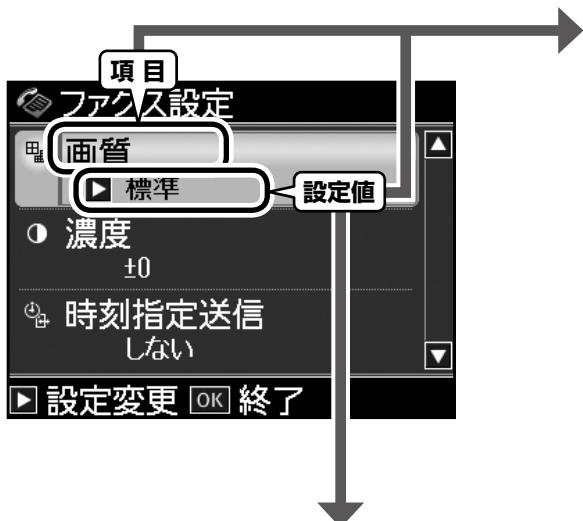
ファクスメニュー
ファクス設定
ファクス送信時の品質や濃度などを設定します。
決定

ファクス設定
画質 標準
濃度 ±0
時刻指定送信 しない
設定変更 終了

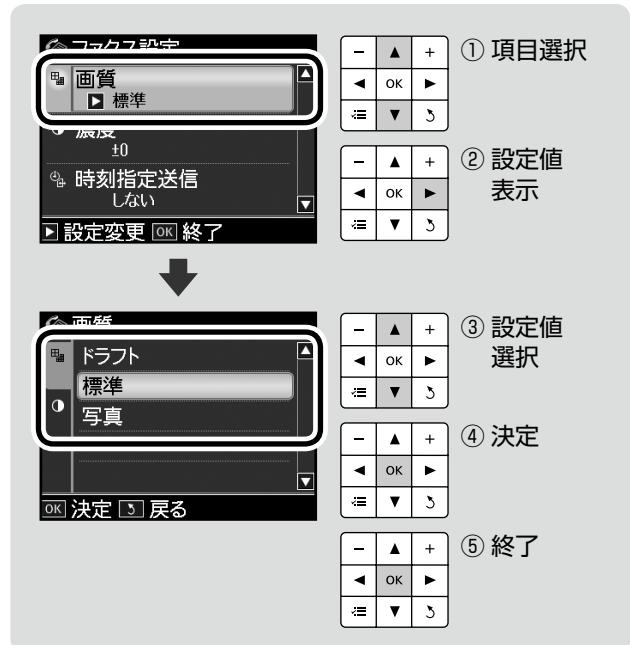
画質
ドラフト
標準
写真
決定 戻る

詳しくは 48 ページ「送信設定の変更」

ファクス

ファクス送信の基本②
－送信設定の変更－

47 ページ手順❷の送信設定の変更では、画質や濃度などの設定を変更できます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

項目と設定値

画質

ファクス送信の画質を選択

設定	品質
ドラフト	低
標準	↕
写真	高

- 文字や写真が混在する原稿は、画質で［写真］を選択すると、よりきれいに送信できます。
- 送信するファクスの画像や画質によって、ファクス送信にかかる時間は異なります。

濃度

ファクス送信の濃度を選択

濃度の薄い原稿（鉛筆書きのような原稿）を送信するときは、濃くしてください。

時刻指定送信

送信する時刻を指定

- 時刻指定送信を設定すると、指定時刻までの間、他のファクスを送信できません。他のファクスを送信するときは、［中止］を押して時刻指定送信を中止してください。
- 時刻指定送信はモノクロで送信されます。

便利なファクス送信機能

短縮ダイヤル・グループダイヤル送信

短縮ダイヤルを登録しておくと、宛先番号の入力を簡略化できます。また、短縮ダイヤルをグループにして登録しておくと、一度の操作で複数の宛先を指定できます。

> **参考**
> 短縮ダイヤル・グループダイヤルの登録方法は、以下のページをご覧ください。
> ☞55 ページ「短縮ダイヤル登録」
> ☞56 ページ「グループダイヤル設定」

1 **原稿をセットします。**

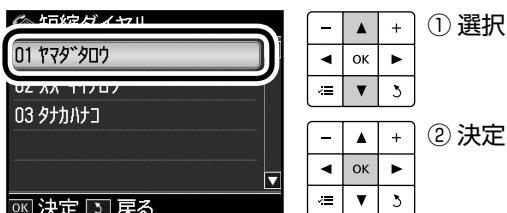
☞ 24 ページ「原稿のセット」

2 **［ファクス］を選択します。**

☞ 46 ページ「ファクス送信の基本①－操作の流れ－」

3 **【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタンを押します。**

※グループダイヤル送信時は 2 回押す

4 **宛名を選択します。**

5 **カラーモードを選択します。**

グループダイヤル送信はモノクロで送信されます。

6 **送信設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押します。**

☞ 48 ページ「送信設定の変更」

7 **【スタート】ボタンを押して、送信を開始します。**

以上で、操作は終了です。

リダイヤル送信

一度送信した宛先の番号を呼び出して送信できます。

1 **原稿をセットします。**

☞ 24 ページ「原稿のセット」

2 **［ファクス］を選択します。**

☞ 46 ページ「ファクス送信の基本①－操作の流れ－」

3 **【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押します。**

4 **カラーモードを選択します。**

5 **送信設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押します。**

☞ 48 ページ「送信設定の変更」

6 **【スタート】ボタンを押して、送信を開始します。**

以上で、操作は終了です。

順次同報送信

複数の宛先を一括指定して送信できます。

1 **原稿をセットします。**

☞ 24 ページ「原稿のセット」

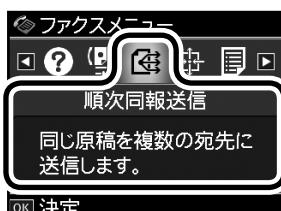
2 **［ファクス］を選択します。**

☞ 46 ページ「ファクス送信の基本①－操作の流れ－」

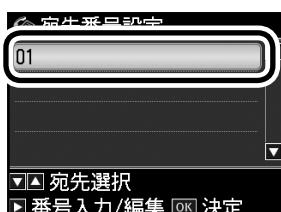
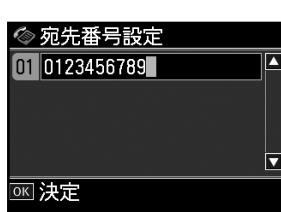
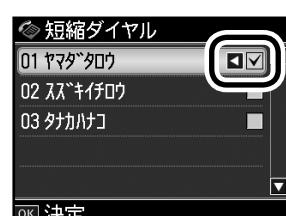
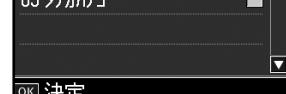
3 **送信設定を変更します。**

☞ 47 ページ「送信設定の変更」

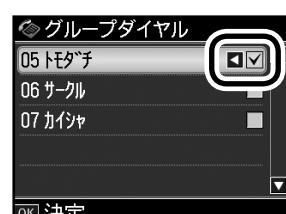
4 **【メニュー】ボタンを押します。**

5 **［順次同報送信］を選択します。**

6 **宛先番号を設定します。**

「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループダイヤル」を組み合わせて設定することもできます。各設定画面への切り替えは、【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタンで行います。

<直接ダイヤル>

<短縮ダイヤル>

※ ［✓］を外すときは【◁】か【▷】ボタンをもう一度押す

<グループダイヤル>

※ ［✓］を外すときは【◁】か【▷】ボタンをもう一度押す

参考

「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループダイヤル」を組み合わせて設定するときは、それぞれの操作を続けて行い、宛先をすべて設定してから手順 7 に進みます。
例えば、「短縮ダイヤル」と「グループダイヤル」を組み合わせて設定するときは、以下の手順で操作します。
① 上記<短縮ダイヤル>の操作で宛先を選択。
② 【OK】ボタンを押さずに【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタンを押す。
③ <グループダイヤル>の操作で宛先を選択。
④ 手順 7 に進む。

7 宛先をすべて設定したら、【OK】ボタンを押します。

8 【スタート】ボタンを押して、送信を開始します。

以上で、操作は終了です。

手動送信

ファクスを送信する前に通話したいときや、相手のファクスが自動的に切り替わらないときは、以下の手順で送信してください。

手動送信するためには、本製品に外付電話機が接続されている必要があります。

1 原稿をセットします。

☞ 24 ページ「原稿のセット」

2 外付電話機の受話器を上げます。

3 ［送信］を選択します。

4 送信先にダイヤルします。

5 ファクス信号（「ピー」音）が聞こえたら、【スタート】ボタンを押して受話器を置きます。

以上で、操作は終了です。

ファクス

ファクス受信

ファクスを受信する方法は 3 通りあります。

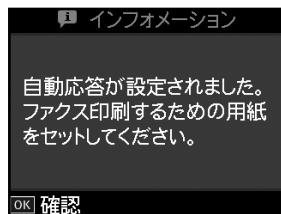
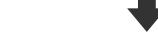
自動受信

写真印刷やパソコン印刷よりもファクス使用が多いときは、自動受信をお勧めします。
なお、ファクスの受信に備えて、普段から A4 サイズの普通紙をセットしておくことをお勧めします。

1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

☞ 21 ページ「印刷用紙のセット」

2 **【Auto】ボタンを押して、自動受信モードにします。**

設定

自動受信ランプが点灯します。
この後、ファクス信号を検出すると、設定されている回数の呼び出し音が鳴りファクスが受信されます。受信終了後、ファクスデータが印刷されます。

！重要

本製品に外付電話機が接続されていないときは、必ず自動受信モードに設定してください。自動受信モードに設定しないと、ファクスを受信できません。

参考

- 本製品に留守番電話機を接続して留守番電話機能を有効にしているとき、本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く（ナンバーディスプレイをご利用のときは 7 回以上）設定してください。少なく設定すると、先に本製品がファクス受信の応答を始めてしまうため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。
  呼び出し回数の設定方法は、以下のページをご覧ください。
  ☞58 ページ「基本機能・送受信設定」
- 留守番電話の応答中にファクス信号を検出したときは、自動的にファクス受信に切り替わります。
- 本製品に外付電話機が接続されておらず、操作パネルの［音の設定］がオフになっていると、着信音は鳴りません。
  ☞85 ページ「プリンタの基本設定」
- 着信中に外付電話機の受話器を上げてファクス信号（「ポー」音）が聞こえたときは、受話器を置かずにそのままお待ちください。自動的にファクス受信に切り替わります。ファクス信号が聞こえなくなり「接続中です。」という画面が表示されたら、受話器を置いてください。
- プリンタがエラー状態*のときに受信したデータは、メモリに記録されます。
  エラーを解除するとデータの印刷ができます。
  ☞59 ページ「受信文書の再印刷」
- 受信したファクスデータは本製品のメモリに保存されますが、本製品の電源をオフにすると、すべての受信ファクスデータが消去されます。手動受信、ポーリング受信も同様です。

*：インクカートリッジの交換が必要なときや、用紙が詰まったときなど、印刷できない状態

以上で、操作は終了です。

手動受信

ファクスよりも写真印刷・パソコン印刷・電話などの使用が多いときは、一旦電話に出て相手がファクスかどうかを確認してから受信する手動受信をお勧めします。

参考

- 手動受信をするためには、本製品に外付電話機が接続されている必要があります。
- 手動受信モードでは、留守番電話の応答中にファクス信号を検出できません。外出など不在時にファクスを受信するときは、必ず自動受信モードに切り替えてください。

1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

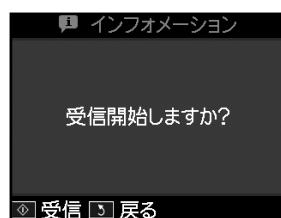
☞ 21 ページ「印刷用紙のセット」

2 **自動受信ランプが点灯しているときは、【Auto】ボタンを押して自動受信モードを解除します。**

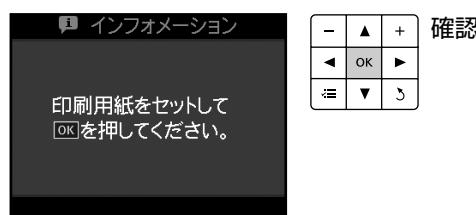
3 **外付電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げます。**

4 **通常の電話の場合は、通話を続けます。ファクス信号（「ポー」音）が聞こえた場合は、［受信］を選択します。**

5 **【スタート】ボタンを押してから、外付電話機の受話器を置きます。**

ファクス受信が開始されます。

6 **表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。**

ファクスの印刷が開始されます。

参考

外付電話機の子機でファクス信号を受信したときは、通話を切らずに手順 4 以降に従ってファクスを受信してください。

以上で、操作は終了です。

ポーリング受信

本製品から操作して、相手側のファクスに蓄積された原稿を受信できます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。

1 A4 サイズの普通紙をセットします。

21 ページ「印刷用紙のセット」

2 ［ファクス］を選択します。

46 ページ「ファクス送信の基本①－操作の流れ－」

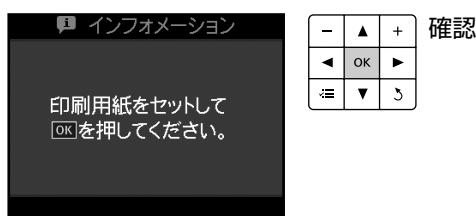
3 【メニュー】ボタンを押します。

4 ［ポーリング受信］を選択します。

5 ファクス番号を入力します。

6 【スタート】ボタンを押して、受信を開始します。

7 以下の画面が表示されたときは、【OK】ボタンを押します。

ファクスの印刷が開始されます。

参考

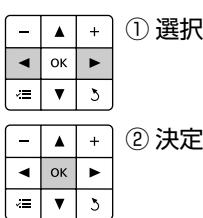
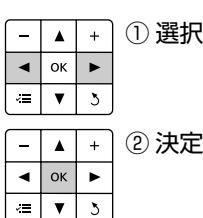
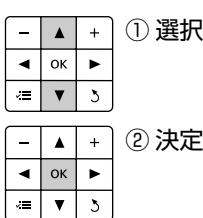
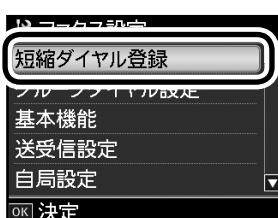
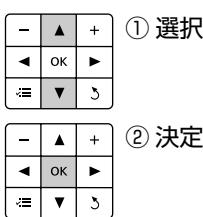
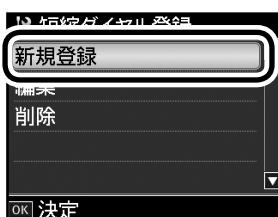
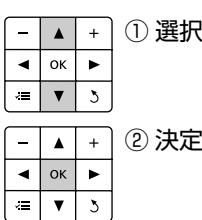
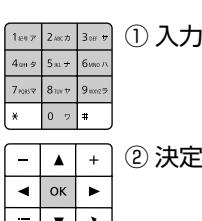
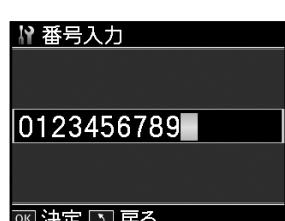
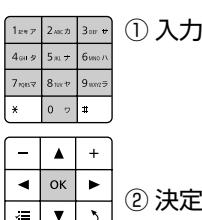
- 自動受信モードでは手順 7 の画面は表示されず、自動的にファクス印刷が開始されます。
- ポーリング受信では、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用するには、外付電話機を接続して、手動受信の手順 4 以降に従って操作してください。
53 ページ「手動受信」

以上で、操作は終了です。

ファクスの各種設定・レポート印刷

短縮ダイヤル登録

短縮ダイヤルでの送信方法は、以下のページをご覧ください。
☞49 ページ「短縮ダイヤル･グループダイヤル送信」

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［短縮ダイヤル登録］を選択します。

4 ［新規登録］を選択します。

5 登録する番号を選択します。

6 宛先番号を入力します。

7 宛先を入力します。

※ 文字種（カナ・大文字・小文字・数字）を変更するときは【メニュー】ボタンを押します。

参考

- 手順 4 で［編集］･［削除］を選択すると、登録済みの短縮ダイヤルを編集・削除できます。
- 手順 6・7 では、【◁】か【▷】ボタンでカーソルを移動させ、文字や数字を挿入することができます。また、【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタンを押すと、文字を削除（バックスペース）できます。
- 手順 7 では 30 文字まで入力できます。入力できる文字種については、以下のページをご覧ください。
  ☞60 ページ「入力文字一覧」
- 登録できるダイヤルは、短縮ダイヤル・グループダイヤル合わせて 60 件（合計 60 電話番号）です。
- 入力したデータを、外部メモリにコピーすることはできません。
- パソコンから登録することはできません。

以上で、操作は終了です。

グループダイヤル設定

参考

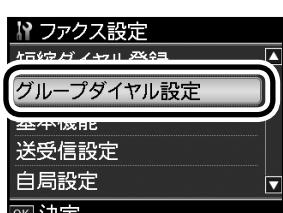
グループダイヤルの送信方法は、以下のページをご覧ください。
☞49 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」

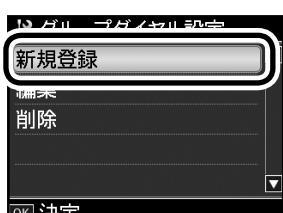
1 ［セットアップ］を選択します。

① 選択
② 決定

2 ［ファクス設定］を選択します。

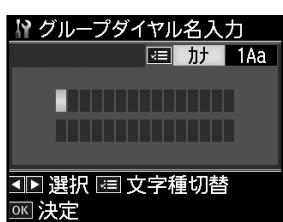
① 選択
② 決定

3 ［グループダイヤル設定］を選択します。

① 選択
② 決定

4 ［新規登録］を選択します。

① 選択
② 決定

5 登録する番号を選択します。

① 選択
② 決定

6 グループダイヤル名を入力します。

① 入力
② 決定

参考

- 文字種（カナ・大文字・小文字・数字）を変更するときは【メニュー】ボタンを押します。
- 名前は 30 文字まで入力できます。入力できる文字種については、以下のページをご覧ください。
  ☞60 ページ「入力文字一覧」
- 【◁】か【▷】ボタンでカーソルを移動させ、文字や数字を挿入することができます。
  また、【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタンを押すと、文字を削除（バックスペース）できます。

7 グループにする短縮ダイヤルを選択します。

① 選択
② チェック

※［✓］を外すときは【◁】か【▷】ボタンをもう一度押す

8 宛先をすべて設定したら【OK】ボタンを押します。

参考

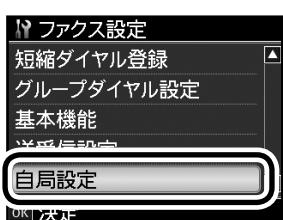
- 手順 4 で［編集］・［削除］を選択すると、設定済みのグループダイヤルを編集・削除できます。
- 登録できるダイヤルは、短縮ダイヤル・グループダイヤル合わせて 60 件（合計 60 電話番号）です。
- 入力したデータを、外部メモリにコピーすることはできません。
- パソコンから設定することはできません。

以上で、操作は終了です。

自局設定

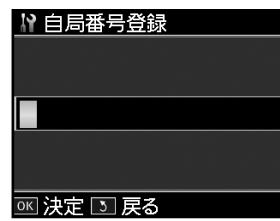
1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［自局設定］を選択します。

4 ［自局名登録］または［自局番号登録］を選択します。

5 名前または番号を入力します。

<自局名>

※ 文字種（カナ・大文字・小文字・数字）を変更するときは【メニュー】ボタンを押します。

<自局番号>

- 【◁】か【▷】ボタンでカーソルを移動させ、文字や数字を挿入することができます。
  また、【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタンを押すと、文字を削除（バックスペース）できます。
- 自局名で 40 文字、自局番号で 20 文字まで入力できます。入力できる文字種については、以下のページをご覧ください。
  ☞60 ページ「入力文字一覧」

以上で、操作は終了です。

ファクス

基本機能・送受信設定

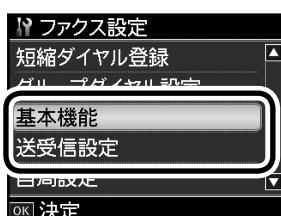
ファクス送信の画質や送受信などの各種設定を変更できます。

1 ［セットアップ］を選択します。

① 選択
② 決定

2 ［ファクス設定］を選択します。

① 選択
② 決定

3 ［基本機能］または［送受信設定］を選択します。

① 選択
② 決定

4 設定項目を選択します。

① 項目選択
② 設定値表示

③ 設定値選択
④ 決定
⑤ 終了

<基本機能>

設定項目	設定値・内容（＊は初期値）
画質	ドラフト・標準*・写真
	送信ファクスの画質を設定します。
濃度	－４～０*～＋４
	送信ファクスの濃度を設定します。
自動縮小印刷	する*・しない
	受信データのサイズが A4 サイズよりも長いときに、縮小して印刷するかしないかを設定します。データによって縮小されないことがあります。
結果レポート	しない・エラー時のみ*・する
	通信結果レポートを印刷する条件を設定します。［する］を選択すると、ファクス送信後毎回レポートが印刷されます。

<送受信設定>

設定項目	設定値・説明（＊は初期値）
回線種別	プッシュ*・ダイヤル（10pps）・ダイヤル（20pps）
	電話回線の回線種別を設定します。
エラー訂正（ECM）	する*・しない
	回線のトラブルなどによるエラーを自動的に訂正する ECM 機能を有効にするかしないかを設定します。
通信開始速度	14,400bps・33,600bps*
	通信を開始するときの速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるとき、海外または IP 電話環境で通信するときは、14,400bps に設定することをお勧めします。
呼び出し回数	1 ～ 15（初期値 5）
	着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を設定します。回数を多くし過ぎると、送信側のファクス設定によって受信できないことがあります。
ダイヤルトーン検出	する*・しない
	ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうかを設定します。［する］に設定すると、早く確実にダイヤルできます。 接続環境によってダイヤルできないときは、［しない］に設定してください。なお、環境によって番号の最初が抜けるなど誤った番号に接続されてしまう可能性があります。

以上で、操作は終了です。

レポート印刷・受信文書の再印刷

ファクス送受信のレポートや、短縮（グループ）ダイヤルリストを印刷できます。また、一度印刷したファクスデータを再印刷できます。

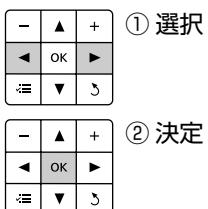
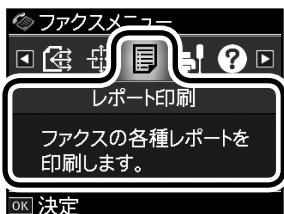
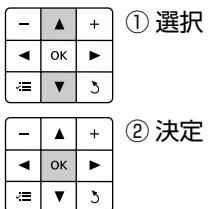
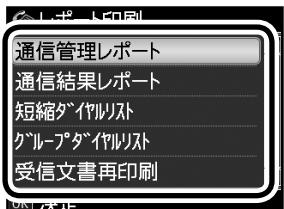
1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

☞ 21 ページ「印刷用紙のセット」

2 **［ファクス］を選択します。**

☞ 46 ページ「ファクス送信の基本①－操作の流れ－」

3 **【メニュー】ボタンを押します。**

4 **［レポート印刷］を選択します。**

5 **項目を選択します。**

メニュー	内容
通信管理レポート	送受信結果の一覧を印刷・表示します。
通信結果レポート	最後にファクス送信またはポーリング受信した通信結果を印刷します。
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
グループダイヤルリスト	グループダイヤルの一覧を印刷します。
受信文書再印刷	今までに受信したすべてのファクスのうち、本製品のメモリに蓄積されているファクスデータを日付の新しい順から印刷します。
プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。**

参考

- 蓄積された受信ファクスデータが本製品のメモリをオーバーしたときは、古い順から削除されます。削除されたファクスデータは再印刷できません。
- ファクス受信中に停電などによって本製品の電源がオフになると、受信されたデータは保存されません。停電対策が必要なときは、UPS（無停電電源装置）の設置などをご検討ください。
- 未送信データや 1 度も印刷していない受信データがあるときは、停電レポートが印刷されます。

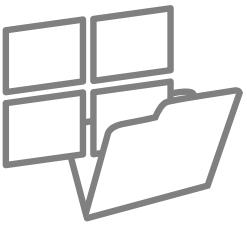
以上で、操作は終了です。

入力文字一覧

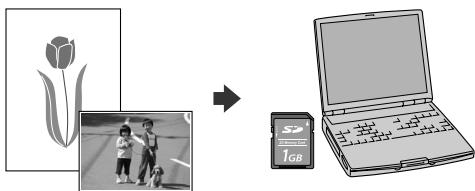
操作パネルのテンキーから入力できる文字の一覧です。「カナモード」と「1Aa」は【メニュー】ボタン（ ）を押すことで、切り替えられます。

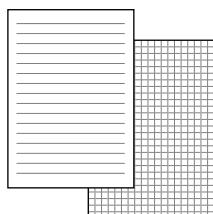
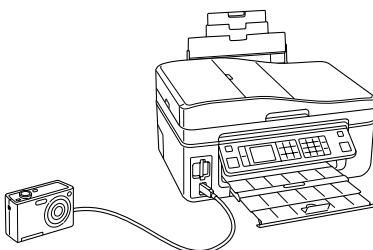
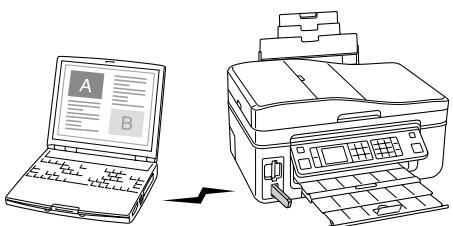
カナモード

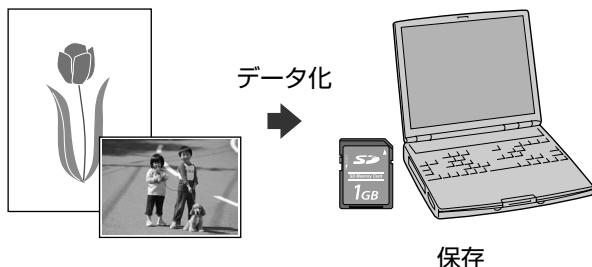
1Aa モード

テンキー	カナモード	1Aa モード
1	アイウエオ　ァィゥェォ	1 ！＃%&’（）＊＋,-. /：；＝？@ _˜
2	カキクケコ	2ABC　abc
3	サシスセソ	3DEF　def
4	タチツテト　ッ	4GHI ghi
5	ナニヌネノ	5JKL jkl
6	ハヒフヘホ	6MNO mno
7	マミムメモ	7PQRS pqrs
8	ヤユヨ　ャュョ	8TUV tuv
9	ラリルレロ	9WXYZ wxyz
0	ワヲン　ー、。	0
＊	゛゜＿	＊
＃	！＃%&’（）＊＋,-. /：；＝？@ _˜。「」、・	＃

便利な機能

この章では、便利な機能について説明しています。

スキャンしてメモリカード・
パソコンに保存
☞62 ページ

メモリカードのデータ保存・削除
☞64 ページ

ノート罫線印刷
☞66 ページ

デジタルカメラから USB 接続で印刷
☞67 ページ

Bluetooth 通信で印刷
☞68 ページ

スキャンしてメモリカード・パソコンに保存

写真や雑誌などの印刷物をスキャンして、画像データとしてメモリカードやパソコンに保存できます。

スキャンしてメモリカードに保存

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 22 ページ「メモリカードのセット」

2 **原稿をセットします。**

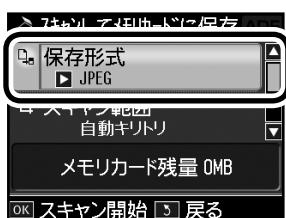
☞ 24 ページ「原稿のセット」

3 **［スキャン］を選択します。**

① 選択

② 決定

4 **［スキャンしてメモリカードに保存］を選択します。**

5 **スキャン設定をします。**

設定	内容
保存形式	JPEG（写真などに適した形式）
	PDF（文書などに適した形式）
スキャン範囲*1	自動キリトリ 文字や画像のある部分のみスキャン
	最大範囲 原稿台の範囲をすべてスキャン
原稿サイズ*2	A4（固定）
原稿タイプ	文字（文書など）
	写真*1（写真やイラストなど）
保存品位	速度優先
	画質優先

＊1：原稿を原稿台にセットしたときのみ表示します。

＊2：原稿をオートドキュメントフィーダにセットしたときのみ表示します。

参考

スキャン後のファイル容量は、以下を目安にしてください。なお、画像によって容量は大きく変わることがあります。

	L 判写真	A4 文書
速度優先	約 200KB	約 500KB
画質優先	約 400KB	約 800KB

6 **【OK】ボタンを押して、スキャンを開始します。**

スキャン後、メモリカードに保存されます。

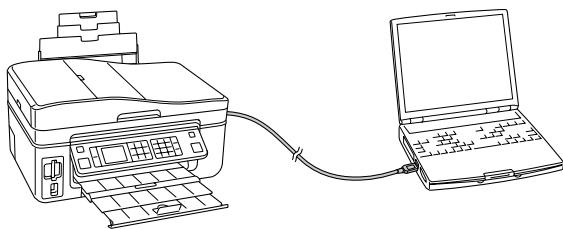
保存したデータを削除するときは、以下のページをご覧ください。

☞65 ページ「メモリカードのデータ削除」

以上で、操作は終了です。

スキャンしてパソコンに保存

！重要

スキャンしてパソコンに保存するときは、本製品とパソコンを接続して、付属のソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは『準備ガイド』をご覧ください。ただし、この機能はネットワーク接続時には使用できません。

1 原稿をセットします。

☞ 24 ページ「原稿のセット」

2 ［スキャン］を選択します。

3 ［スキャンしてパソコンへ］を選択します。

しばらくすると、パソコンの画面に、EPSON Scan が自動的に起動します。

4 EPSON Scan の設定を確認してスキャンを開始します。

スキャン後、画像はフォルダに保存されます。

参考

手順 3 のその他項目について詳しくは、『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

メニュー	内容
スキャンして PDF（パソコンへ）	スキャンしたデータを PDF 形式で保存します。
スキャンして E メール（パソコンへ）	スキャンしたデータを JPEG 形式でメールに添付します。

以上で、操作は終了です。

メモリカードのデータ保存・削除

データ保存（バックアップ）

メモリカード内の写真データを、パソコンを介さずに、外部記憶装置（CD や USB フラッシュメモリなど）に保存できます。

使用できる外部記憶装置

外部記憶装置	メディア
CD-R ドライブ* DVD-R ドライブ*	CD-R 650・700MB DVD-R 4.7GB ※ CD-RW・DVD+R・DVD ± RW・DVD-RAM には対応していません。
MO ドライブ*	MO 128・230・640MB・1.3GB ※ DOS・Windows フォーマット済みのもの。
USB フラッシュメモリ	

＊：バスパワーでの電源供給はできません。必ず AC アダプタを接続してお使いください。

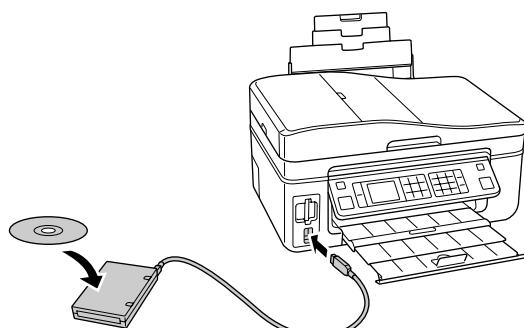
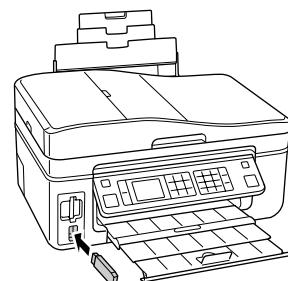
すべての動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞

操作方法

1 保存するデータの入ったメモリカードをセットします。

☞ 22 ページ「メモリカードのセット」

2 外部記憶装置を接続します。

■ CD/DVD・MO ドライブ

■ USB フラッシュメモリ

3 ［データ保存］を選択します。

4 ［メモリカードのデータをバックアップ］を選択します。

この後は、画面の案内に従って操作してください。

参考
外部記憶装置にバックアップしたデータは、本製品では削除できません。

以上で、操作は終了です。

保存したデータの印刷

外部記憶装置に保存したデータは、そのまま外部記憶装置から印刷することができます。

1 **外部記憶装置を接続し、保存したデータの入ったメディアをセットします。**

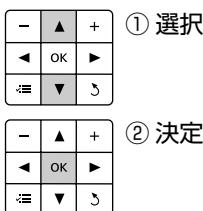
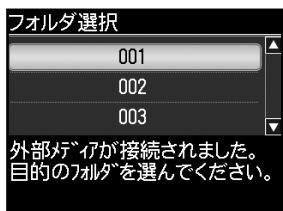
参考

- メモリカードがセットされているときは取り出してください。
- ファイル容量が 3MB 以上の画像*を印刷すると、印刷が始まるまでに数十分程度の時間がかかることがあります。
- 本製品以外で保存したデータは正常に印刷できないことがあります。

*： 6M ピクセル(600 万画素)以上のデジタルカメラで撮影した画像などは、おおむね 3MB 以上になります。

2 **印刷用紙をセットします。**

21 ページ「印刷用紙のセット」

3 **印刷する写真が含まれているフォルダを選択します。**

4 **この後は、写真の印刷の基本と同様の手順で印刷します。**

34 ページ「操作の流れ」

以上で、操作は終了です。

メモリカードのデータ削除

パソコンを介さずに、メモリカード内の全ファイルを削除できます（個々には削除できません）。

1 **データを削除するメモリカードをセットします。**

22 ページ「メモリカードのセット」

3 **［データ保存］を選択します。**

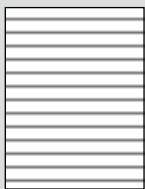
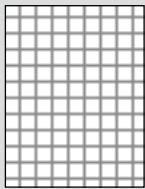
4 **［ファイル全削除］を選択します。**

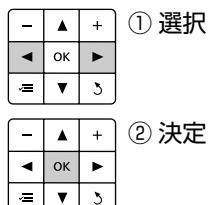
この後は、画面の案内に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

便利な機能

ノート罫線印刷

無地の印刷用紙に、ノートのような罫線を印刷したり、背景写真を印刷して便箋を作成したりできます。背景写真は、メモリーカードの中から選択できます。

操作方法

［ノート罫線印刷］を選択します。

この後は、画面の案内に従って操作してください。

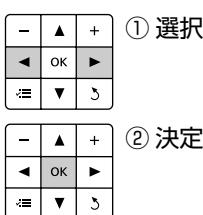
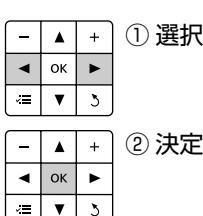
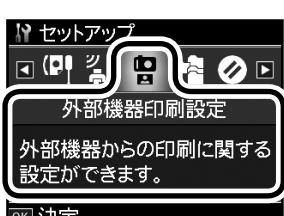
以上で、操作は終了です。

デジタルカメラから USB 接続で印刷

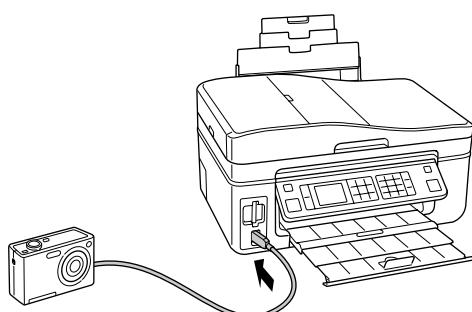
「PictBridge」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷できます。本製品と接続可能なデジタルカメラの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

1　印刷用紙をセットします。

☞ 21 ページ「印刷用紙のセット」

2　［セットアップ］を選択します。

3　［外部機器印刷設定］を選択します。

4　印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定の変更」

5　デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

6　デジタルカメラで各種設定をします。

①印刷する写真と枚数を設定します。
②お好みでその他の項目を設定します。

7　デジタルカメラから印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

参考

- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値・設定方法・操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、「標準設定」*などを選択したときやデジタルカメラ側で設定できない機能は、本製品側の設定が反映されます。
  なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせのときは、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます。
  ※ この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません。
- セピアまたはモノクロで印刷したいときは、本製品側でセピア印刷またはモノクロ印刷の設定をしてください。
  ☞38 ページ「写真の色補正」－「フィルタ」
- TIFF 画像の印刷はできません。

*：本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

Bluetooth 通信で印刷

オプションの Bluetooth ユニット（型番：PMDBU3）を取り付けると、Bluetooth 通信で印刷できます。

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth 対応の製品で、以下のプロファイル（Bluetooth 通信の規格）に対応している必要があります。通信可能な Bluetooth 製品の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞

BIP（Basic Imaging Profile）

- 最大 2.5MB の JPEG 画像に対応しています。
- 一度に送信できるデータは 1 件です。印刷中のデータを含め、最大 10 件まで印刷予約することができます。ただし、データ容量の合計は 3MB までです。

OPP（Object Push Profile）

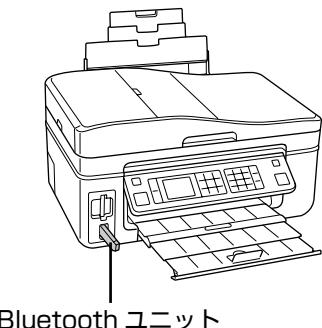
JPEG 画像に対応しています。

HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは設定できません。

Bluetooth 対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していないと、Bluetooth ユニットと通信できません。

Bluetooth ユニットの取り付け

オプションの Bluetooth ユニットを接続します。

Bluetooth ユニット

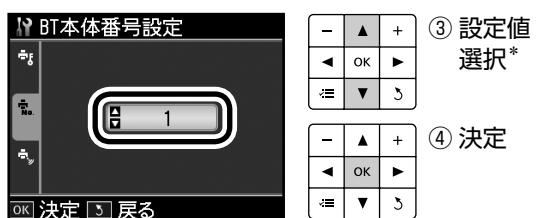
Bluetooth 通信設定

初めて接続するときは、セキュリティ確保のために設定することをお勧めします。

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［Bluetooth の設定］を選択します。

3 Bluetooth 通信の設定をします。

次ページの表を参照して設定してください。

各項目を設定したら、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

＊：［BT パスキー設定］は【 ▷】か【 ◁】ボタンで移動して、各桁を設定します。
［BT デバイスアドレス表示］は変更できません。

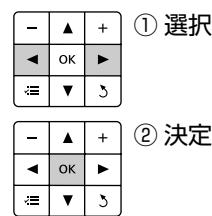
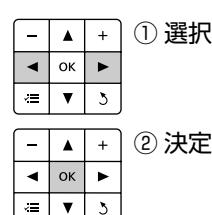
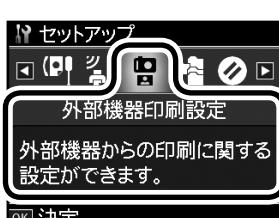
設定項目	設定値・説明
BT パスキー設定	任意の 4 桁の数字（初期値：0000）
	セキュリティ確保のためにパスキーを設定します。パスキーを設定すると、デジタルカメラなどから印刷するときに、パスキーの入力が必要になります。Bluetooth 通信でパスキーを使用するときは、[BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、[BT 暗号化］を［する］に設定してください。
BT 本体番号設定	0 ～ 9
	Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台の Bluetooth 対応機器があるときに、混信を防ぐため異なる番号を設定します。電源を一旦オフにすると設定が有効になります。
BT 通信モード	パブリック
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷ができます。
	プライベート
	Bluetooth 対応機器から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。
	ボンディング
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷をするときには、パスキーが必要になります。
BT 暗号化	しない・する
	通信の内容を暗号化できます。パスキーの入力が必要になります。
BT デバイスアドレス表示	（例）11-11-11-11-11-11
	本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。 ※ 本製品と通信を行う機器に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。そのようなときは、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。 114 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

以上で、操作は終了です。

印刷方法

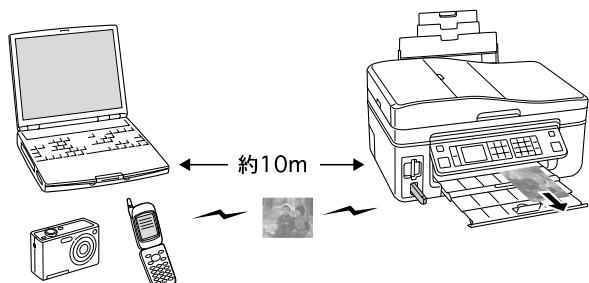
1 **印刷用紙をセットします。**

21 ページ「印刷用紙のセット」

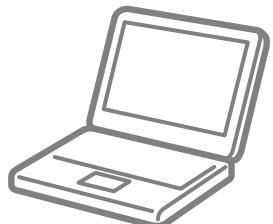
2 **［セットアップ］を選択します。**

3 **［外部機器印刷設定］を選択します。**

4 **印刷設定をします。**

36 ページ「印刷設定の変更」

5 **お使いの Bluetooth 対応機器で各種設定をして、印刷を開始します。**

詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。正常にデータが受信されると、印刷が始まります。

参考

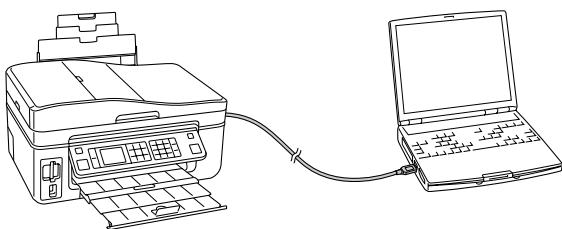
- Bluetooth 対応のパソコンから、プリンタドライバを使用して印刷できます。ただし、インク残量などプリンタの状態を確認する EPSON プリンタウィンドウ !3 機能は使用できません。また、Mac OS X 用のプリンタドライバからは印刷できません。
- 通信中や印刷中は、操作パネル以外の部分に触れないでください。

以上で、操作は終了です。

パソコンと接続して使う

この章では、パソコンとつないで使用する方法について説明しています。

パソコンから印刷・スキャン

準備

パソコンとつないで使用するには、本製品とパソコンを接続して、付属のソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは『準備ガイド』をご覧ください。

※ パソコンと接続して使用するときは、操作パネルの設定は必要ありません（どのモードになっていてもかまいません）。

パソコンから印刷

以下の操作について詳しくは、電子マニュアルをご覧ください。

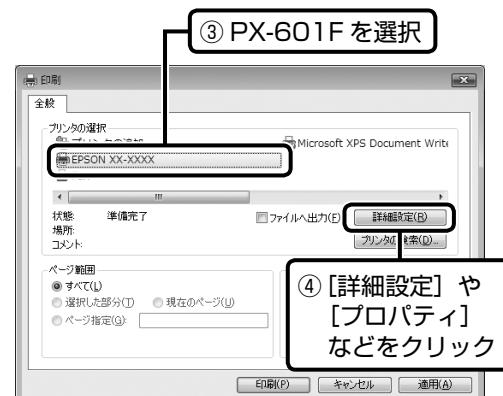
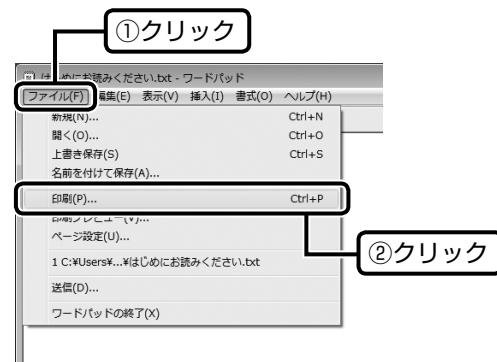
『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「印刷の基本」

Windows

Windows Vista のワードパットを例に説明します。

1 印刷用紙をセットします。

21 ページ「印刷用紙のセット」

2 お使いのアプリケーションソフトからプリンタドライバの画面を表示します。

3 印刷設定をします。

参考

アプリケーションソフトで作成したデータの用紙のサイズは、[ファイル]メニューの[用紙設定]や[ページ設定]などの項目で確認できます。

4 印刷を開始します。

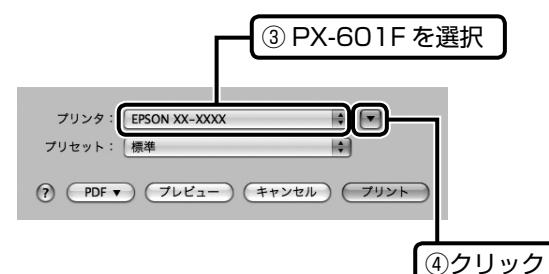
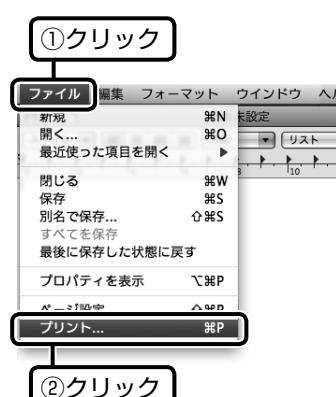
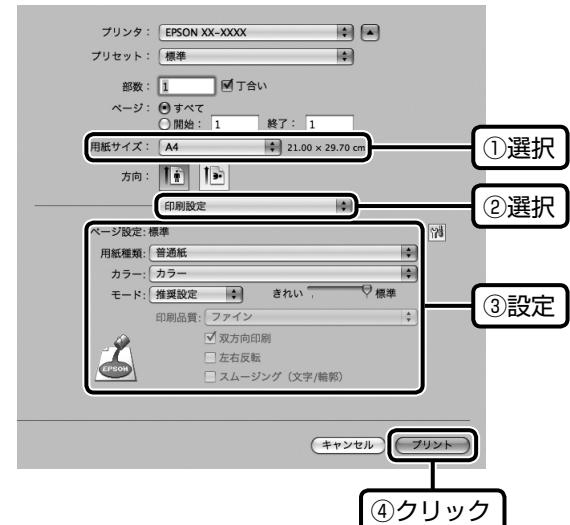
以上で、操作は終了です。

Mac OS X

Mac OS X v10.5.x のテキストエディットを例に説明します。

1 印刷用紙をセットします。

☞ 21 ページ「印刷用紙のセット」

2 お使いのアプリケーションソフトから、プリンタドライバの画面を表示します。

3 印刷設定をして、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

パソコンからスキャン

以下の操作について詳しくは、電子マニュアルをご覧ください。

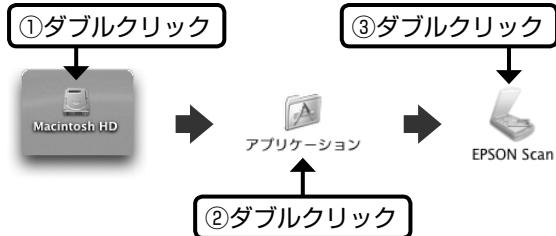
☞『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「スキャンの基本」

1 原稿をセットします。

☞ 24 ページ「原稿のセット」

2 EPSON Scan（エプソン スキャン）を起動します。

< Windows >
デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

< Mac OS X >
①ハードディスク内の②［アプリケーション］フォルダ －③［EPSON Scan］の順にダブルクリックしてください。

3 EPSON Scan の設定を確認してスキャンを開始します。

スキャン後、画像はフォルダに保存されます。

参考

- オフィスモードで思い通りにスキャンできないときは、［ホームモード］や［プロフェッショナルモード］に切り替えて、詳細設定をお試しください。
- 保存場所やファイル名・ファイル形式などを設定するには、［保存ファイルの設定］ボタンをクリックしてください。

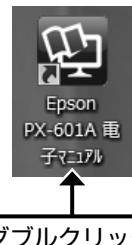
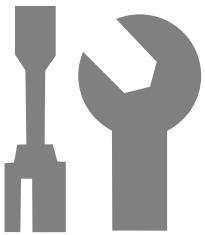
以上で、操作は終了です。

詳しい使い方（電子マニュアルのご案内）

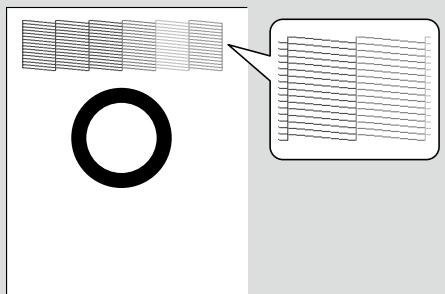
パソコンから印刷・スキャンするときの詳しい使い方は、『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。
パソコンからの用途に応じた印刷･スキャン方法をはじめ、困ったときの対処方法･付属ソフトウェアのご案内･プリンタのメンテナンス方法などを説明しています。また、ネットワークで接続したときのトラブル解決方法やカスタム設定の方法は、『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」で説明しています。
『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）はパソコンの画面で見るマニュアルです。

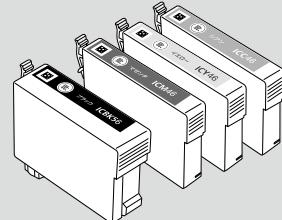
表示方法

デスクトップ上の［電子マニュアル］アイコンをダブルクリックしてください。

Epson PX-601A 電子マニュアル

- ソフトウェアと同時にパソコンにインストールされます。CD-ROM を毎回セットする必要はありません。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以上（Windows）、Safari 1.3 以上（Mac OS X）などのブラウザでご覧ください。
- PDF データをダウンロードすることもできます。ダウンロードサービスは、エプソンのホームページでご案内しています。
  ＜ http://www.epson.jp/support/ ＞

お手入れ・各種設定（セットアップ）

この章では、お手入れの方法と各種設定について説明しています。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

☞78 ページ

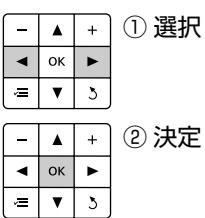
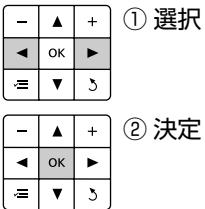
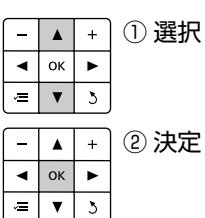
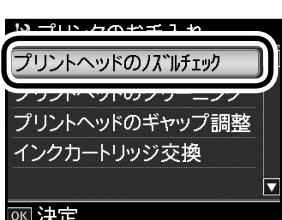
インクカートリッジの交換

☞81 ページ

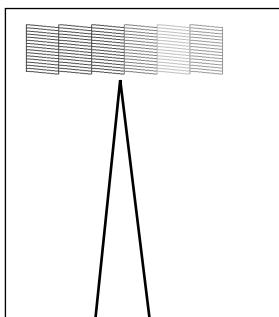
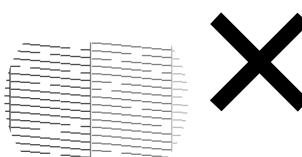
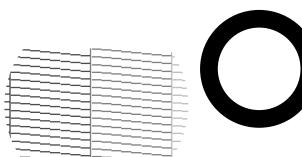
きれいに印刷するために

ノズルチェックとヘッドクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷されたりするときは、ノズルの状態をご確認ください。また、写真を印刷する前にも、ノズルチェックを行うことをお勧めします。

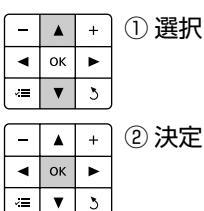
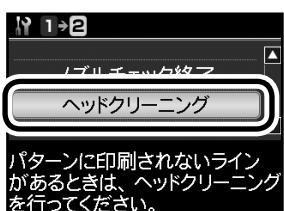
ノズルチェック（目詰まりの確認）

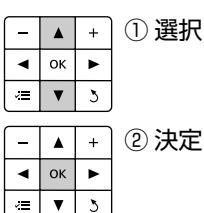
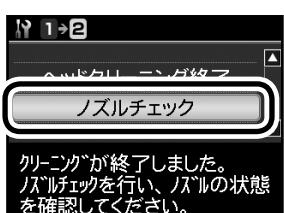
1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［プリンタのお手入れ］を選択します。

3 ［プリントヘッドのノズルチェック］を選択します。

この後は、画面の案内に従って操作してください。

4 印刷したノズルチェックパターンを確認します。

参考

ノズルチェックパターンは明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下で確認すると、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

ヘッドクリーニング

1 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

この後は、画面の案内に従って操作してください。

2 ［ノズルチェック］を選択して再度ノズルチェックパターンを印刷し、目詰まりが解消されたか確認します。

この後は、画面の案内に従って操作してください。

ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

参考

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に４回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源をオフにして６時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
  ☞114ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- 前ページ手順 3 の画面で［プリントヘッドのクリーニング］を選択すると、ノズルチェックを行わずにヘッドクリーニングができます。
- 電源のオン・オフは、【電源】ボタンで行ってください。【電源】ボタンでオフにしないと、プリントヘッドが乾燥して目詰まりの原因になります。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つため、定期的に印刷することをお勧めします。

以上で、操作は終了です。

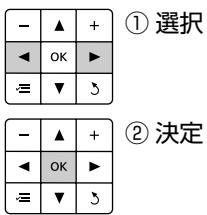
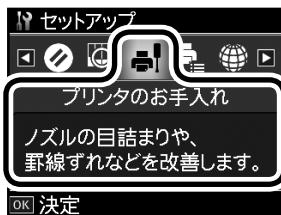
プリントヘッドのギャップ調整

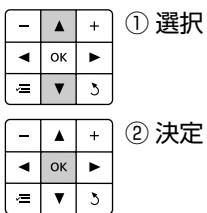
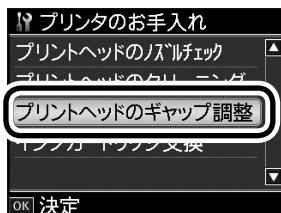
縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、ギャップ調整をお試しください。

1 ［セットアップ］を選択します。

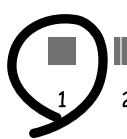
① 選択
② 決定

2 ［プリンタのお手入れ］を選択します。

① 選択
② 決定

3 ［プリントヘッドのギャップ調整］を選択します。

① 選択
② 決定

この後は、画面の案内に従って操作してください。

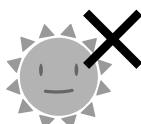
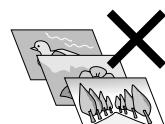
参考

印刷したギャップ調整パターンでは、＃１から＃４の各パターンで、最も縦スジが目立たない番号を選択してください。

調整結果に満足できないときは、プリンタドライバからのギャップ調整をお試しください。
☞『パソコンでの印刷･スキャンガイド』（電子マニュアル）

以上で、操作は終了です。

印刷した用紙の取り扱い

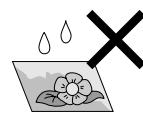
■ 十分に乾燥させる

印刷後の用紙は、以下の点に注意して十分に乾燥させてください。よく乾燥させずに保存すると、にじみが発生することがあります。

直射日光に当てない

印刷面を重ねない

ドライヤーなどで乾かさない

■光や空気を遮断して保存する

印刷物は光や空気を遮断することで、退色を抑えることができます。乾燥後は以下の点に注意して、速やかにアルバムやクリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。

屋外に展示しない

濡らさない

インクカートリッジの交換

⚠注 意
交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
☞5 ページ「インクカートリッジに関するご注意」

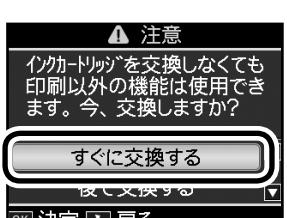
！重 要
操作部分（グレーで示した部分）以外は手を触れないでください。

参考
メッセージが表示される前に交換するときは、以下のページをご覧ください。
☞83 ページ「メッセージが表示される前に交換するとき」

交換のメッセージが表示されたとき

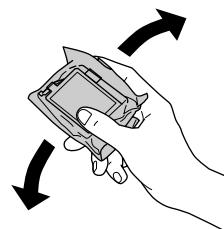
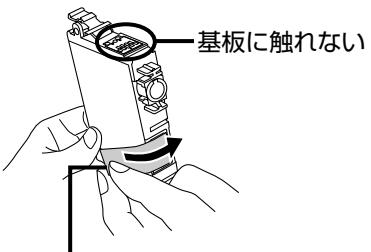
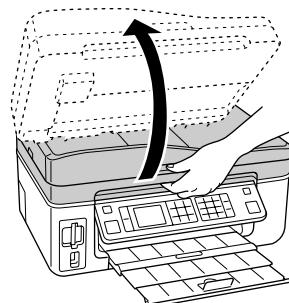
1 交換の必要なインクカートリッジを確認して、交換を開始します。

① 確認

交換の必要なインクカートリッジ*のみ表示される

② 決定

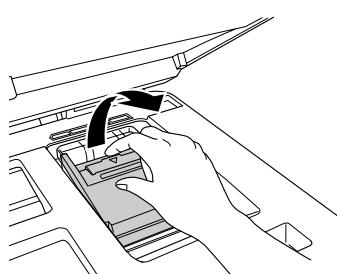
＊： エプソンの純正インクカートリッジの型番は以下の通りです。純正品のご使用をお勧めします。

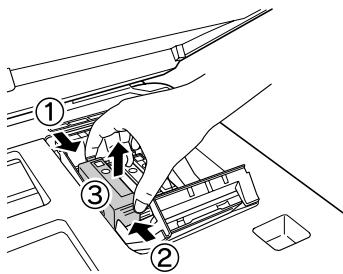
【BK】ブラック	：ICBK56
【C】 シアン	：ICC46
【M】 マゼンタ	：ICM46
【Y】 イエロー	：ICY46

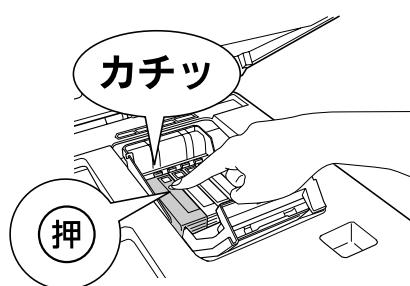
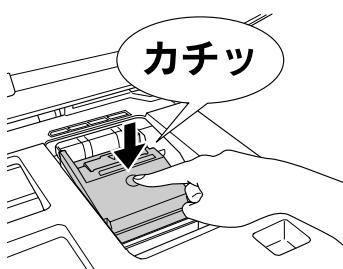
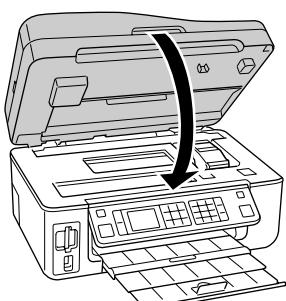
2 インクカートリッジを 4 ～ 5 回振って、袋から取り出します。

3 黄色いフィルムのみはがします。

4 スキャナユニットを開けます。

5 カートリッジカバーを開けます。

つづく

お手入れ・各種設定（セットアップ）

6 **交換するインクカートリッジを取り外します。**

フックをつまみ、真上に取り外してください。
外れないときは、強く引き抜いてください。

7 **新しいインクカートリッジをセットします。**

㊞の部分を、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

8 **カートリッジカバーをしっかりと閉じます。**

9 **スキャナユニットを閉じます。**

10 **インク充てんを開始します。**

参考

- 「インクカートリッジがセットされていません。インクカートリッジをセットしてください。」と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してみてください。
- コピー中の交換作業では、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してコピーを中止後、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。

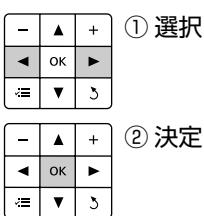
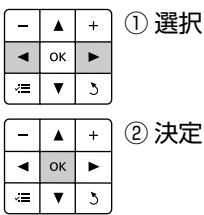
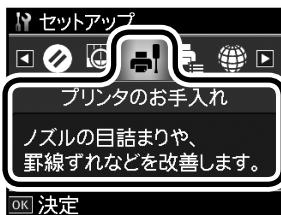
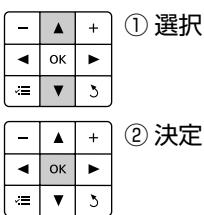
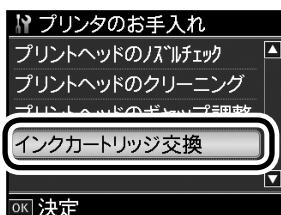
以上で、操作は終了です。

パソコン接続でお使いのときは、カラーインク残量が限界値を下回ったとき一時的（開始から最長５日間）に、ブラックインクのみ使用する［黒だけでモード］の印刷ができます。

☞『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」－「インクカートリッジの交換」

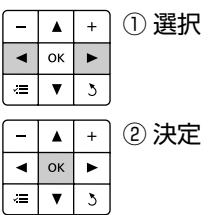
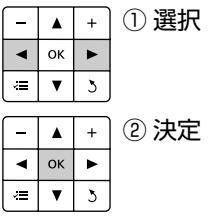
メッセージが表示される前に交換するとき

大量印刷などのためにメッセージ表示前に交換するときは、以下の手順で交換してください。

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［プリンタのお手入れ］を選択します。

3 ［インクカートリッジの交換］を選択します。

この後は、81 ページの手順 2 以降に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

インク残量の確認

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［インク残量の表示］を選択します。

3 インク残量を確認します。

【OK】ボタンでメニューに戻ります。

参考

- 上記画面で［カートリッジ交換］を選択すると、インクカートリッジを交換できます。交換の手順は 81 ページ手順 2 以降をご覧ください。
- 非純正インクカートリッジでは、インク残量が表示されないことがあります。
- 交換のメッセージが表示されているときは、インク残量は表示されません。
- 画面に「!」マークや「インクが少なくなりました」と表示されても、しばらくは印刷できますが、早めに新しいインクカートリッジを用意することをお勧めします。

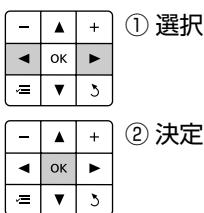
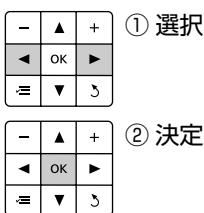
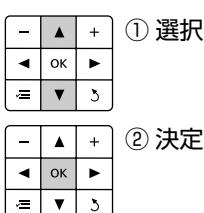
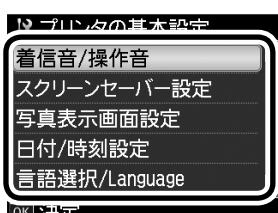
以上で、操作は終了です。

お手入れ・各種設定（セットアップ）

各種設定の変更・初期化

プリンタの動作や操作パネルの表示など各種設定を変更できます。

操作方法

1 ［セットアップ］を選択します。

2 メニューを選択します。

3 設定項目を選択します。

この後は、画面の案内に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

メニュー

- インク残量の表示
  ☞83 ページ「インク残量の確認」
- Bluetooth 設定
  ☞68 ページ「Bluetooth 通信で印刷」
- 外部機器印刷設定
  ☞67 ページ「デジタルカメラから USB 接続で印刷」
- ネットワーク設定
  ☞『準備ガイド』
- ファクス設定
  ☞55 ページ「ファクスの各種設定・レポート印刷」
- プリンタのお手入れ
  ☞78 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」
  ☞80 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
  ☞81 ページ「インクカートリッジの交換」

ファイルオプション

設定項目	内容
フォルダ選択	データ保存機能では、写真データが外部記憶装置にフォルダ単位で保存されます。 ここでは、印刷する写真が含まれているフォルダを選択します。
グループ選択	メモリカードや外部記憶装置内の写真が999 枚を超えると、グループ単位で表示されます。 ここでは、印刷する写真が含まれているグループを選択します。

初期設定に戻す

設定項目	内容
ファクス通信設定	ファクス設定の基本機能と送受信設定を購入時の状態に戻します。
ファクス登録データのクリア	ファクス短縮ダイヤル・グループダイヤル・自局設定をクリアします。
ネットワーク設定	ネットワーク設定を購入時の状態に戻します。
ネットワークとファクス設定以外	ネットワークとファクス以外の設定を購入時の状態に戻します。
すべての設定	登録ダイヤル・ファクス設定・ネットワーク設定を含むすべての設定を、購入時の状態に戻します。

プリンタの基本設定

プリンタの基本設定を変更します。

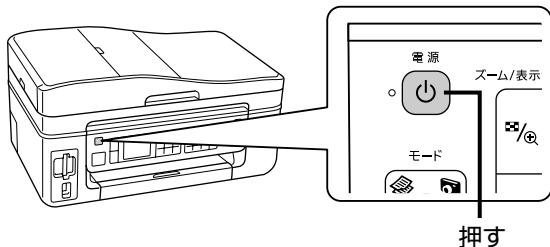
設定項目		設定値 （＊は初期値）	内容
音の設定	着信音 / 操作音	オン*・オフ	パネルの操作音や、ファクスの着信音のオン・オフを設定します。
スクリーンセーバー設定		なし*	スクリーンセーバーとしてメモリカード内の写真を表示する・しないを設定します。スクリーンセーバーは約 3 分間操作しないと表示されます。
		メモリカード内の写真	
写真表示画面設定		1 面・情報表示あり*	メモリカード内の写真の表示方法を設定します。
		1 面・情報表示なし	
		9 面表示	
日付 / 時刻設定		年 . 月 . 日*	日付・時刻を設定します。 設定方法について詳しくは、以下をご覧ください。 『準備ガイド』6 ページ「日時の設定」
		月 . 日 . 年	
		日 . 月 . 年	
言語選択 /Language		日本語*	操作パネルに表示される言語を選択します。
		English	
		Portugues	

輸送(引っ越しや修理)時のご注意

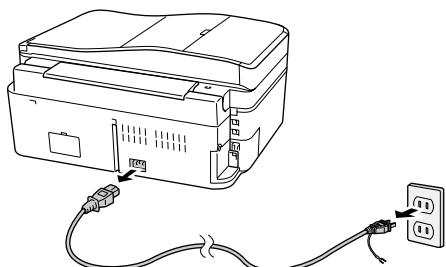
輸送時のご注意

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

1 【電源】ボタンを押して、電源をオフにします。

プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。
操作パネルの角度を調整しているときは、パネル裏側のレバーを引いて収納してください。

！重要

- インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。もう一度電源をオンにしてから、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてください。

2 電源コードを本体から取り外します。

3 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

！重要

保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

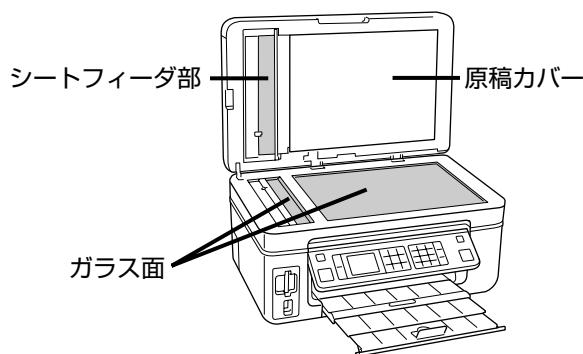
以上で、操作は終了です。

輸送後のご注意

印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。
☞78 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

本体の清掃

外装面

外装面・原稿台のガラス面・原稿カバー・オートドキュメントフィーダのシートフィーダ部が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふき取ります。その後乾いた布でふいてください。

プリンタ内部のローラ

プリンタ内部の給紙用ローラが汚れると、印刷結果の汚れや給紙不良の原因になります。以下の手順で通紙（給排紙）をして、ローラを清掃してください。

1 **原稿台のガラス面と原稿カバーに汚れがないことを確認します。**

2 **A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットします。**

3 **原稿台に原稿をセットせずに、コピーします。**

※ 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

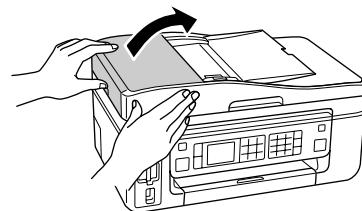
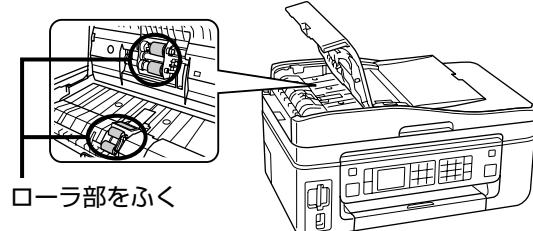
> **！重要**
> 製品内部は布やティッシュペーパーなどでふかないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

以上で、操作は終了です。

オートドキュメントフィーダ内部のローラ

オートドキュメントフィーダ内部の給紙用ローラが汚れると、コピー結果などの汚れや、給紙不良の原因になります。以下の手順で、ローラを清掃してください。

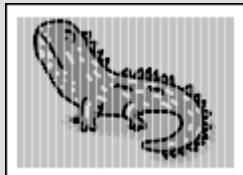
1 **オートドキュメントフィーダカバーを開けます。**

片手でオートドキュメントフィーダを押さえながら、もう片方の手でカバーをゆっくりと開けます。

2 **下図のローラを柔らかい布でからぶきします。**

以上で、操作は終了です。

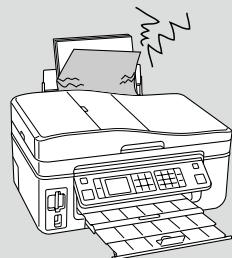
困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、トラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

印刷結果が悪い

シマシマまたは色がおかしい

まず、ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。

☞78 ページ

用紙が詰まった

プリンタ内部に詰まった用紙を取り除いてください。

☞91 ページ

メッセージが表示されたら

本製品の液晶ディスプレイに以下のメッセージが表示されたら、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
スキャナユニットを開けて用紙が詰まっていないか確認し、電源を入れ直してください。詳しくは、マニュアルをご覧ください。	● 電源をオフにしてください。スキャナユニットを開けてプリンタ内部に用紙などが詰まっているときは、取り除いてから電源を入れ直してください。 ☞91 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」 パソコンから印刷しているときは、印刷待ちデータをすべて削除してください。 ☞101 ページ「パソコンから印刷できない（Windows）」－「①印刷待ちのデータがありませんか？」
プリンタエラーが発生しました。 電源を入れ直してください。 詳しくは、マニュアルをご覧ください。	● 電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。 それでもエラーが解除されないときは、電源をオフにしてスキャナユニットを開け、内部に異物（用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
スキャナエラーが発生しました。 マニュアルをご覧ください。	● 電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。 それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへご相談ください。
オーダーシートとメモリカードが一致していません。シートを印刷し直して再度実行してください。	● もう一度オーダーシートを印刷してください。 写真の印刷が終了するまでメモリカードの内容を変更しないでください。 ☞42 ページ「オーダーシートを使って印刷」
バックアップ中にエラーが発生しました。 バックアップを中止します。 エラーコード XXXXXXXX	● バックアップ時に問題が発生したため、バックアップを中止しました。 表示されているエラーコードを控えて、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。 ☞114 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	● インク残量が限界値*1 を下回りました。 新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞81 ページ「インクカートリッジの交換」
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。 お早めにお買い求めの販売店か修理センターへ、交換をご依頼ください。	● 廃インク吸収パッド*2 の吸収量が限界に近付いています。*3 お客様ご自身による交換はできません。お早めにお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 お買い求めの販売店か修理センターへ、交換をご依頼ください。	● 廃インク吸収パッド*2 の吸収量が限界に達しました。*3 お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。
日時設定がリセットされています。設定し直しますか？	● 本製品の電源を長時間オフにすると、日時設定がリセットされます。 再度日付と時刻の設定を行ってください。 ☞『準備ガイド』6 ページ「日時の設定」

＊1：本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。
＊2：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。
＊3：お客様のご使用頻度等によって期間は異なりますが、廃インク吸収パッドの交換が必要になります。メッセージが表示されたら、エプソン修理センターに交換をご依頼ください。保証期間経過後は有償となります。なお、パッドの吸収量が限界に達した場合、インクがあふれることを防ぐため、パッドを交換するまで印刷ができないようになっています。

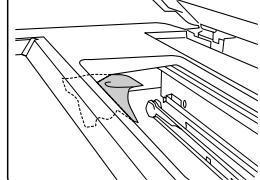
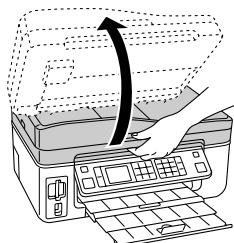
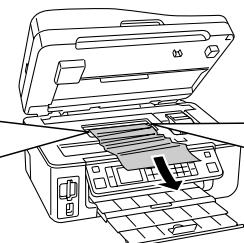
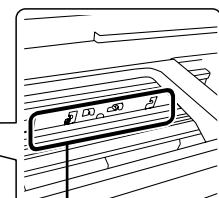
詰まった用紙の取り除き方法

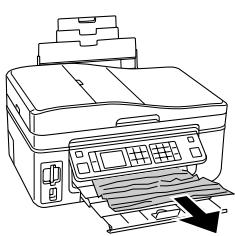
紙が詰まっている箇所を順番に確認して取り除いてください。

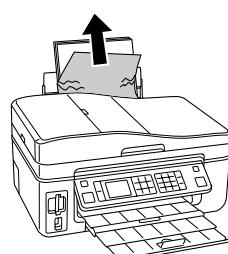
⚠注意
製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、突起などでけがをしないように注意してください。

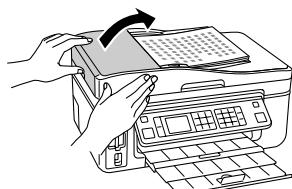
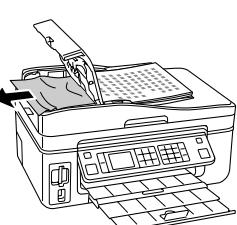
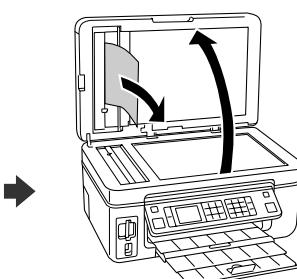
！重要

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。
- 操作部分（グレーで示した部分）以外は手を触れないでください。
- 液晶ディスプレイに電源をオフにするメッセージが表示されたときは、電源をオフにしてください。

1 プリンタ内部

内部に用紙がないかのぞいて確認

用紙を引き抜く

半透明の部品には触らない

2 排紙トレイ部

用紙を引き抜く

3 オートシートフィーダ部

用紙を引き抜く

4 オートドキュメントフィーダ部

オートドキュメントフィーダカバーを開ける

用紙を引き抜く

カバーを開けたまま用紙を引き抜く

トラブル対処

電源・操作パネルのトラブル

症状・トラブル状態	確認・対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅・点灯しない	● 【電源】ボタンを少し長めに押してください。 ● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ● 壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
液晶ディスプレイが暗くなった	● 液晶ディスプレイのスリープモード状態です。 【電源】ボタン以外のボタンを押すと、操作画面が表示されます。
電源をオフにしても本体内部のランプが赤く点灯している	● この状態は故障ではありません。ランプは最長 15 分で自動的に消灯します。
写真の選択画面で［?］が表示される	● 非対応の画像は［?］で表示されます。

※ 液晶ディスプレイに表示されたメッセージの内容がわからないときは、以下のページをご覧ください。
☞90 ページ「メッセージが表示されたら」

給紙・排紙のトラブル

症状・トラブル状態	確認・対処方法
用紙が詰まった	● 無理に引っ張らずに、以下のページの手順に従って取り除いてください。 ☞91 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう オートドキュメントフィーダから原稿が給紙されない	● 用紙は正しくセットして、必ずエッジガイドを合わせてください。 ☞21 ページ「印刷用紙のセット」 ● 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ☞18 ページ「使用できる印刷用紙・原稿」 ● 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかをご確認ください。 ☞108 ページ「総合仕様」－「動作時の環境」 ● 製品内部のローラが汚れている可能性があります。 お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが添付されているときは、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 ☞87 ページ「本体の清掃」－「プリンタ内部のローラ」 クリーニングシートは以下からお買い求めいただけます。 エプソンダイレクト< http://www.epson.jp/shop/ > 商品名：PX/PM 用クリーニングシート

印刷品質・結果のトラブル

症状・トラブル状態	確認・対処方法
かすれる スジや線が入る・シマシマになる 色合いがおかしい・色が薄い 印刷されない色がある 印刷にムラがある モザイクがかかったように印刷される 印刷の目が粗い（ギザギザしている） インクが出ない（白紙で印刷される） ノズルが目詰まりしている	**本体** ● ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 ☞78 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 ● インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）を使用することをお勧めします。 ● 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。 ☞81 ページ「インクカートリッジの交換」 **用紙** ● 写真などは、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。 ● エプソン製専用紙に印刷するときは、おもて面に印刷してください。 ☞18 ページ「エプソン製専用紙（純正用紙）」－「印刷できる面」 ● 印刷後の用紙の取り扱いに注意してください。 ☞80 ページ「印刷した用紙の取り扱い」 **印刷設定** ● セットした用紙の種類と､印刷設定の［用紙種類］を合わせてください。 ☞26 ページ「印刷時の［用紙種類］の設定」 ● 印刷品質の高いモード（［きれい］など）での印刷をお試しください。 普通紙で印刷するときに、［印刷品質］を［標準品質］に設定すると、スジが見えることがあります。 ● 自動画質補正やコントラストなどを設定し、お好みの色合いに調整してください。 ☞38 ページ「自動画質補正・補正モード」 **データ** ● 解像度の高い（画素数の多い）データを印刷してください。 携帯電話や解像度の低いカメラで撮影した写真は、画質が粗いため、小さい用紙に印刷することをお勧めします。 ※解像度は携帯電話・デジタルカメラの機種によって異なります。
ぼやける 文字や罫線がガタガタになる	● プリントヘッドのギャップ調整を行ってください。 ☞80 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

症状・トラブル状態	確認・対処方法
印刷結果がこすれる・汚れる	**本体** ● 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ☞87 ページ「本体の清掃」－「プリンタ内部のローラ」 **用紙** ● 両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。 ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。 ● 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ☞18 ページ「使用できる印刷用紙・原稿」 ● 往復ハガキ以外は、縦方向にセットしてください。 ● 印刷後の用紙の取り扱いに注意してください。 ☞80 ページ「印刷した用紙の取り扱い」 **印刷設定** ● フチなしで印刷するときは、以下の用紙を使用することをお勧めします。 <フチなし印刷対応用紙>（下表）
フチなし印刷ができない	**印刷設定** ● レイアウトを［フチなし］に設定して印刷してください。 ☞30 ページ「レイアウト」 ☞37 ページ「フチなし設定」 **用紙** ● フチなし印刷に対応した用紙をお使いください。 ☞ 上記の表「フチなし印刷対応用紙」
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	● ハガキのセット向きを上下逆にしてお試しください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。
複数面レイアウトで印刷したときに空白ができる	● 複数面レイアウトに自動配置される機能（インデックス印刷・オーダーシートなど）では、本製品で対応していない画像ファイルが空白で印刷されます。

<フチなし印刷対応用紙>

用紙サイズ	用紙種類
A4	写真用紙・フォトマット紙・フォト光沢紙
ハガキ	各種郵便ハガキ・ 各種エプソン製専用ハガキ
L 判･KG サイズ･2L 判･六切･ ハイビジョンサイズ	写真用紙

症状・トラブル状態	確認・対処方法
印刷位置がずれる・はみ出す	**本体** ● エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 ☞21 ページ「印刷用紙のセット」 ● 原稿台や原稿カバーにゴミや汚れが付いていないことをご確認ください。 ゴミや汚れが付いていると、その範囲までコピーしてしまうため、印刷位置がずれることがあります。 ● 原稿が正しくセットされているかご確認ください。 ☞24 ページ「原稿のセット」 **印刷設定** ● セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 ☞31・36 ページ「用紙サイズ」 ● フチなし印刷で写真の周囲が欠けるときは、フチなしはみ出し量の調整をお試しください。 ☞31・37 ページ「フチなしはみ出し量」
原稿の裏面まで透けて コピーされてしまう（裏写りする）	● 原稿の紙が薄いときは、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてスキャンすることをお勧めします。
コピー結果にムラ・シミ・斑点が出る	● 原稿台や原稿カバーにゴミや汚れが付いていないことをご確認ください。 ☞87 ページ「本体の清掃」 ● オートドキュメントフィーダのローラにゴミや汚れが付いていないことをご確認ください。 ☞87 ページ「本体の清掃」 ● 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。 ● 原稿のセット位置をずらしてみてください。

ファクスのトラブル

症状・トラブル状態	確認・対処方法
ファクスの送信も受信もできない 外付電話機で通話ができない	● 接続している電話回線をご確認ください。 108 ページ「ファクス部基本仕様」-「対応回線」 ● 電話回線に正しく接続されているか、以下をご確認ください。 • モジュラケーブルがしっかり接続されているか • モジュラケーブルの接続ポートを逆に接続していないか 上記の確認後、本製品の EXT. ポートに外付電話を接続して、受話器を上げて「ツー」音が聞こえるかご確認ください。 『準備ガイド』30 ページ「電話回線と接続」 ● 外付電話機を接続しているときは、受話器が上がっていないか（話し中になっていないか）ご確認ください。 ●「通信エラー」が表示されたときは、回線状況が不安定になっている可能性があります。 繰り返しまたは頻繁に発生するときは、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。 114 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
ファクスを送信できない 時刻を設定しても送信できない	● 回線種別の設定をご確認ください。 『準備ガイド』32 ページ「回線種別の設定」 ●「ダイヤルトーンがありません。」が表示されたときは、ファクス送受信設定の［ダイヤルトーン検出］を［しない］に設定してください。 58 ページ「基本機能・送受信設定」 ● ADSL 回線をご利用のときは、スプリッタなどの装置を外して電話コンセントに本製品を直接接続してファクスを送信してみてください。 正常に送信できれば、本製品には問題はありません。インターネットサービスプロバイダや IP 電話プロバイダへお問い合わせください。 ● 自局番号が登録されているかご確認ください。 送信先の設定によっては、自局番号が登録されていないと受け付けてくれないことがあります。 57 ページ「自局設定」 ● 番号非通知設定になっていないかご確認ください。 送信先の設定によっては、番号非通知設定になっていると受け付けてくれないことがあります。ファクス宛先番号の先頭に 186 を入れるなど番号通知設定に変更して送信してみてください。 ● 日付と時刻が設定されているかご確認ください。 ［日付 / 時刻設定］が正しく設定されていないと、時刻指定送信はできません（設定項目が表示されません）。 『準備ガイド』6 ページ「日時の設定」 ●「応答がありません。」が表示されたときは、以下をご確認ください。 • 宛先ファクス番号が間違っていないか • 送信先のファクス機が受信できる状態になっているか 問題なければ、しばらく時間をおいてから送信し直してください。

症状・トラブル状態	確認・対処方法
ファクスを受信できない	● ファクスの自動受信がオフになっていないかご確認ください。 外付電話機が接続されていないときは、自動受信をオフにするとファクスを受信できません。 ☞52 ページ「自動受信」 ● ボイスワープなどの電話転送サービスを利用していないかご確認ください。 着信したファクスが転送されると、本製品はファクスを受信できません。電話転送サービスの設定については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。 ● ナンバーディスプレイサービスを利用されているときは、ファクス送受信設定の［呼び出し回数］を 7 回以上に設定してください。 ● 本製品がエラー状態になっていないかご確認ください。 システムエラーなど本製品の電源をオフにする必要のあるエラーや、本製品のメモリがいっぱいになったときは、ファクスを受信できません（このとき本製品では呼び出し音が鳴り続けます）。本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。
ファクスをきれいに送信できない	● 原稿台とオートドキュメントフィーダが汚れていないかご確認ください。 ● 文字や写真が混在する原稿は、画質を［写真］に設定すると、よりきれいに送信できます。 ☞48 ページ「送信設定の変更」 ● 送信ファクスの濃度を調整してみてください。 ☞48 ページ「送信設定の変更」
ファクスをきれいに受信できない	● ファクス送受信設定の［エラー訂正（ECM)］を［する］に設定してください。 ☞58 ページ「基本機能・送受信設定」 ● 送信元に、ファクス原稿や読み取り部分に汚れがないかご確認ください。また、より画質の高いモードで送信し直すように依頼してみてください。 ● もう一度受信したファクスを印刷し直してみてください。 ☞59 ページ「レポート印刷・受信文書の再印刷」
本製品が先に応答してしまうため、 音声通話ができない	● 留守番電話機を接続しているときは、留守番電話機と本製品の呼び出し回数の設定をご確認ください。 本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品が応答してファクス受信が始まるため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。 ☞58 ページ「基本機能・送受信設定」

その他のトラブル

症状・トラブル状態	確認・対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	● 本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。 ● 十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞81 ページ「インクカートリッジの交換」
黒印刷しかしていないのに、カラーインクが減っている	● 本製品では、以下のときにブラック・カラー全色のインクが消費されます。 • カラーインクを使った混色黒印刷時*1 • ヘッドクリーニング時 • セルフクリーニング時*2
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	● 高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いています。 連続印刷中*3 に、製品の動作が一旦停止し印刷速度が極端に遅くなったときは、印刷を中断し電源オンの状態で 30 分程度放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。 ※印刷速度が遅くなっても、印刷を続けることはできます。 ※電源をオフにして放置しても、印刷速度は回復しません。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	● 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。 このようなときには、本製品を接続しているパソコンなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。
日付・時刻がずれている	● 日付・時刻を正しく設定し直してください。 ☞『準備ガイド』6 ページ「日時の設定」

＊ 1： 用紙種類によって自動で設定される
＊ 2： プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐため、自動的に全色のインクを微量吐出する機能
＊ 3： 30 分以上、印刷し続けている状態（時間は印刷状況によって異なります）

パソコン接続(USB)時のトラブル対処

パソコンと接続して使用するときのトラブル対処方法は、『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）の「トラブル解決」に詳しく記載されています。

パソコンから印刷・スキャンできない

このトラブルで最も多い原因の対処方法を次ページに記載しています。

まずはこれをチェック !!

印刷品質・結果のトラブル

かすれる / スジが入る
色合いがおかしい
にじむ
印刷面がこすれる / 汚れる
印刷位置がずれる / はみ出す

スキャン品質・結果のトラブル

画像が暗い
画像がぼやける
色合いがおかしい
裏写りするモアレ（網目状の陰影）が出る
ムラ / シミ / 斑点が出る
円 / シマ模様が出る
意図した範囲 / 向きでスキャンできない

!重要

パソコンからメモリカードへアクセス中に、パソコンの動作が不安定になったときは、本製品の［ファイル共有設定］を［読み込み専用］に設定してから、パソコンを再起動してください。
☞『準備ガイド』40 ページ「ファイル共有の設定」

パソコンから印刷できない(Windows)

印刷を開始しても何も印刷されない、本製品が動作しないときは、以下の手順でパソコンをチェックしてください。

1 USBケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

2 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

＜Windows Vista＞
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックします。

＜Windows XP＞
［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［プリンタとFAX］をクリックします。

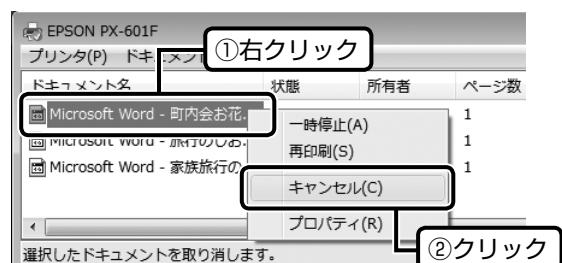
＜Windows 2000＞
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

①印刷待ちのデータがありませんか？

パソコンに印刷待ちのデータが残っていると、印刷が始まらないときがあります。データが残っているときは、一旦取り消してください。

1 上記画面内の［PX-601F］アイコンをダブルクリックします。

2 印刷待ちのデータが残っているときは、データを右クリックして、［キャンセル］または［印刷中止］などをクリックします。

＜画面例：Windows Vista＞

次の項目をチェック

②「通常使うプリンタ」の設定になっていますか？

1 ［プリンタ］フォルダの［PX-601F］アイコンにチェックマークが付いていることを確認します。

2 マークが付いていないときは、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けます。

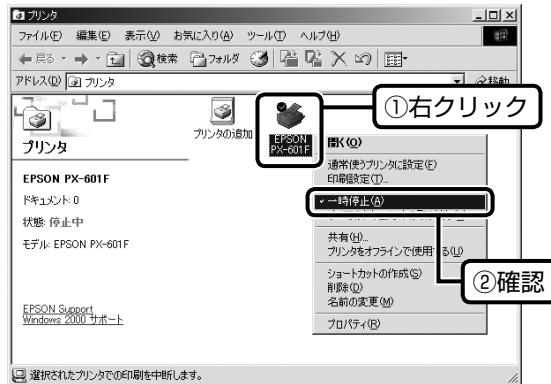
つづく

③ プリンタが［一時停止］の状態になっていませんか？

1 ［プリンタ］フォルダの［PX-601F］アイコンを右クリックして、一時停止の状態でないことを確認します。

< Windows XP・Windows Vista >

※［印刷の再開］が表示されているときは一時停止の状態です。

< Windows 2000 >

※［一時停止］にチェック（✓）が付いているときは一時停止の状態です。

2 ［一時停止］になっているときは、一時停止を解除します。

< Windows XP・Windows Vista >
［印刷の再開］をクリックします。

< Windows 2000 >
［一時停止］をクリックしてチェック（✓）を外します。

次の項目をチェック

④［オフライン］の状態になっていませんか？

Windows XP·Windows Vistaの場合のみご確認ください。

1 ［プリンタ］フォルダの［PX-601F］アイコンを右クリックして、オフラインの状態でないことを確認します。

※［プリンタをオンラインで使用する］が表示されているときはオフラインの状態です。

2 オフラインの状態になっているときは、［プリンタをオンラインで使用する］をクリックします。

オンラインの状態になります。

次の項目をチェック

⑤ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか？

印刷先が［LPT1（プリンタポート）］などの間違ったポートに設定されていると印刷できません。印刷先がUSBポートに正しく設定されているかご確認ください。

1 **［プリンタ］フォルダの［PX-601F］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

2 **印刷先（ポート）の設定を確認します。**

［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON PX-601F］（xには数字が入ります）が選択されていることを確認します。

⑥もう一度印刷を開始してください

以上を確認しても印刷できないときは、プリンタドライバをインストールし直してください。

105ページ「ドライバの再インストール」

！重要

［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

困ったときは（トラブル対処方法）

パソコンから印刷できない(Mac OS X)

印刷を開始しても何も印刷されない・本製品が動作しないときは、以下の手順でパソコンをチェックしてください。

印刷のステータスが［一時停止］になっていませんか？

1 ［アップル］メニューから［システム環境設定］をクリックし、［プリントとファクス］をクリックします。

2 プリンタリストから「一時停止中」のプリンタドライバをダブルクリックします。

3 ［プリンタを再開］をクリックします。

参考
Mac OS X v10.4 以前のときは、[プリンタ設定ユーティリティ]を表示し、停止中のプリンタドライバをダブルクリックします。表示される画面から[ジョブを開始]をクリックします。

もう一度印刷を開始してください

上記を確認しても印刷できないときは、プリンタリストから該当プリンタを削除して、プリンタドライバをインストールし直してください。
☞105 ページ「ドライバの再インストール」－「②再インストール」

パソコンからスキャンできない

本製品の電源がオンになっていること、USB ケーブルが接続されていることをご確認ください。
それでもスキャンできないときは、スキャナドライバをインストールし直してください。
☞105 ページ「ドライバの再インストール」

ドライバの再インストール

前項を確認しても印刷・スキャンできないときは、プリンタドライバ・スキャナドライバをインストールし直してください。

①ドライバの削除

インストールされているドライバを削除します。

＜ Windows Vista ＞

［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［プログラム］の［プログラムのアンインストール］をクリックします。削除するドライバをクリックして［アンインストール］をクリックします。

＜ Windows XP ＞

［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［プログラムの追加と削除］をクリックします。削除するドライバを選択して［削除］をクリックします。

＜ Windows 2000 ＞

［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。［プログラムの変更と削除］をクリックして、削除するドライバをクリックし、［追加と削除］をクリックします。

②再インストール

■ 付属の『ソフトウェア CD-ROM』からインストールする場合

『準備ガイド』28 ページ「USB 接続時のインストール」

■ エプソンのホームページからダウンロードしてインストールする場合

1 **以下のホームページにアクセスし、［ドライバ・ソフトウェアダウンロード］をクリックします。**

<http://www.epson.jp/support/>

2 **製品名・お使いの OS を選択して、ドライバをダウンロードし、インストールします。**

詳しくは、ダウンロードページの「ダウンロード方法・インストール方法」をご確認ください。

インストール時に、以下の画面が表示されたときは、本製品の電源をオンにしてください。

なお、［手動設定］・［検索中止］をクリックした、または電源をオンにしなかったときは、接続先（ポート）の設定を確認してください。

103 ページ「⑤印刷先（ポート）の設定は正しいですか？」

以上で、操作は終了です。

パソコン接続(ネットワーク)時のトラブル対処

本書のパソコン接続時のトラブルでは、USB 使用時のトラブルのみを説明しています。ネットワーク使用時のトラブルは、以下のマニュアルをご覧ください。

準備・設定時のトラブル

準備ガイド **「困ったときは（トラブル対処方法）」**	ネットワーク設定時に起こりやすいトラブルの対処方法を説明しています。

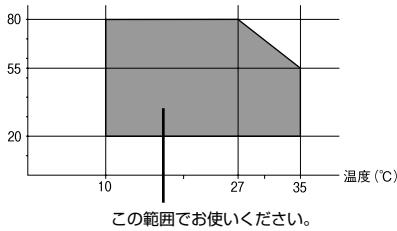
パソコンと接続して使用するときのトラブル

パソコンでの印刷・スキャンガイド（電子マニュアル） • **「トラブル解決」** • **「ネットワーク設定補足ガイド」－「トラブル解決」**	「トラブル解決」では、印刷またはスキャン時のトラブル対処方法を説明しています。 「ネットワーク設定補足ガイド」の「トラブル解決」では、プリンタをネットワークに接続するときのトラブル対処方法を説明しています。

付録

製品の仕様とご注意

総合仕様

ノズル配列	黒インク：128 ノズル× 3 列 カラー：128 ノズル× 3 色
インク色	ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー
最高解像度	5760 * × 1440dpi ＊：最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。
最小ドットサイズ	2pl（ピコリットル）
インターフェイス	USB 2.0 ハイスピード× 2 （PC 接続用・外部記憶機器接続・PictBridge 用）・10 BASE-T/100BASETX・IEEE802.11b/g
定格電圧	AC100V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.5A
消費電力	コピー時：約 20W （ISO/IEC24712 印刷パターンコピー） スリープモード時：約 5.5W 電源オフ時：約 0.2W
製品外形寸法（単位：mm）	収納時：幅 461 ×奥行き 346 ×高さ 236 使用時：幅 461 ×奥行き 563 ×高さ 306
製品質量	約 8.3kg （インクカートリッジ・電源コード含まず）
動作時の環境	温度：10 ～ 35℃ 湿度：20 ～ 80%（非結露） 湿度（%） 80 55 20 温度（℃） 10 27 35 この範囲でお使いください。
保管時の環境	温度：－ 20 ～ 40℃ 湿度：5 ～ 85%（非結露）
省資源機能	両面印刷機能・割付印刷機能・縮小印刷機能の使用により、印刷用紙の使用枚数を削減できます。

スキャナ部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサー	CIS
出力解像度	主走査：2400 dpi 副走査：2400 dpi
最大有効画素数	20400 × 28080 Pixel
最大原稿サイズ	A4・US レターサイズ　216 × 297mm
階調	16bit 入力 1・8bit 出力

オートドキュメントフィーダ部基本仕様

用紙セット方向	原稿面上向き
最大原稿サイズ	A4
セット可能用紙種類	普通紙（坪量 64 ～ 95g/m^2）
最大セット可能枚数	30 枚または 3mm

ファクス部基本仕様

型式	送受信兼用デスクトップ （スーパー G3・カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN） なお、以下のシステムや電話回線では使用できないことがあります。 • 構内交換機（PBX *）を使用した内線電話システム • ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線 • 各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線 • デジタル回線（ISDN） • 加入電話回線との間にターミナルアダプタ、スプリッタ、ADSL ルータなどの各種アダプタを接続した場合 その他、電話回線の状況や地域などの条件によって使用できないことがあります。
通信速度	最大 33.6kbps
解像度	モノクロ ドラフト：8pels/mm × 3.85lines/mm 標準：8pels/mm × 7.7lines/mm 写真：8pels/mm × 7.7lines/mm カラー 標準：200 × 200 dpi 写真：200 × 200 dpi
短縮ダイヤル登録件数	最大 60 件
受信ファクス最大保存ページ数	約 180 ページ （ITU-T 標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）

＊：企業などの内線電話システムで使われている回線で、外線発信するときに電話番号の最初に 0 などの外線発信番号を付けて通話する回線のこと。

カードスロット仕様

■ 対応電圧

3.3V 専用・3.3V/5V 兼用（供給電圧は 3.3V）
※ 5V タイプのメモリカードは非対応
※最大供給電流は 500mA

■ 対応画像ファイル

デジタルカメラ	DCF *1 Version2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF *1 Version1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG *2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横：80 〜 9200 ピクセル 縦：80 〜 9200 ピクセル
最大ファイル数	9990 個*3

＊ 1： DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。
＊ 2： Exif Version2.21 準拠。
＊ 3： 一度に表示できるファイル数は 999 個です。999 個を超えたときはグループ単位で表示します。

※ 本製品で認識できない画像ファイルは、「？」マークが表示されます。

適合規格・規制

■ 電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 電波障害自主規制について

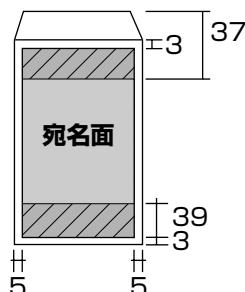
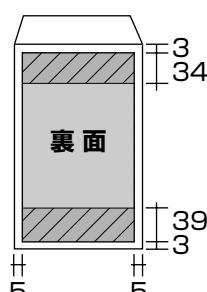
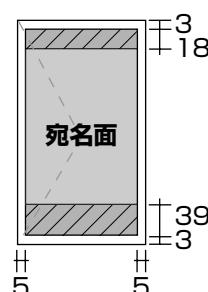
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

印刷領域

下図のグレーの領域に印刷されます。ただし本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

■ 定形紙

（単位：mm）

■ 封筒

（単位：mm）

※ 印刷データによっては、印刷品質が低下することがあります。
※ 長形 3 号・長形 4 号は Windows のみ使用可能です。

メモリカードに関するご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリカードを譲渡・廃棄するときは

メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡・廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の譲渡 / 廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。消去方法については、以下をご覧ください。

☞84 ページ「初期設定に戻す」

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律） 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標について

- Apple、Mac、Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士フイルム株式会社の商標です。
- Bluetooth は、その権利者が保有している商標であり、セイコーエプソン株式会社は、ライセンスに基づき使用しています。
- EPSON Scanはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSON PRINT Image Matching、トラブル解決アシスタントは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

Windows

- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版

本書中では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。
また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS

- 本製品は、Mac OS X v10.3.9 以降に対応しています。
- 本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

☞ 114 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。

< http://www.epson.jp/support/ >

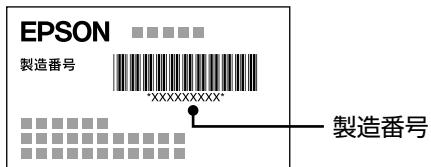
「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

お問い合わせ前の確認事項

必ず以下のトラブル対処方法をご確認ください。

☞ 89 ページ「困ったときは（トラブル対処方法）」
☞『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）

それでもトラブルが解決しないときは、以下の事項をご確認の上、お問い合わせください。

①本製品の型番	PX-601F
②製造番号	製品に貼られているラベルに記載されています。 EPSON ■■■■■ 製造番号 *XXXXXXXXX* 製造番号
③どのような操作	□コピー □メモリカードから印刷 □パソコンから印刷 □スキャン □その他（ ）
④印刷データ	□写真 □文章 □その他（ ）
⑤エラー表示	□液晶ディスプレイ □パソコン画面 メッセージ内容：
⑥用紙の種類	□普通紙 □写真用紙 □ハガキ □その他（ ）
⑦用紙のサイズ	□ A4 □ハガキ □ L 判 □その他（ ）

お問い合わせ窓口

■ 本製品に関するお問い合わせ先

カラリオインフォメーションセンター

☞ 114 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ 付属のソフトウェア『読ん de!! ココパーソナル』に関するお問い合わせ先

エプソン販売株式会社　エーアイソフト製品総合窓口

『読ん de!! ココパーソナル』ユーザーズマニュアルの「サポートサービス総合案内」もしくは
ホームページ <http://ai2you.com/support>「製品サポートサービスに関する総合案内」をご確認ください。

修理・アフターサービスについて

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は､製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。
故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなることがあります。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスに関しての受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
●お買い求めいただいた販売店
●エプソン修理センター（114 ページの一覧表をご覧ください）
受付日時：月曜日～金曜日（土日祝日・弊社指定の休日を除く） 9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドア サービス	• 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

！重 要

エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

本製品に関するお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
【電話番号】　050-3155-8022
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
【電話番号】　050-3155-7150
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店 で代行いたします。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください。

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL(03)5321-9738　大阪　TEL(06)6120-6057
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

エプソン販売株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5
コンシューマ(SPC)　2008.06

索引

- 製品各部のなまえは
  ☞6 ページ「各部の名称と働き」
- 操作パネルの使い方や画面の見方は
  ☞8 ページ「操作パネルの使い方」
- 用紙の種類・サイズは
  ☞18 ページ「使用できる印刷用紙・原稿」
- 設定値（メニュー）は
  ☞10 ページ「設定一覧」

アルファベット

五十音

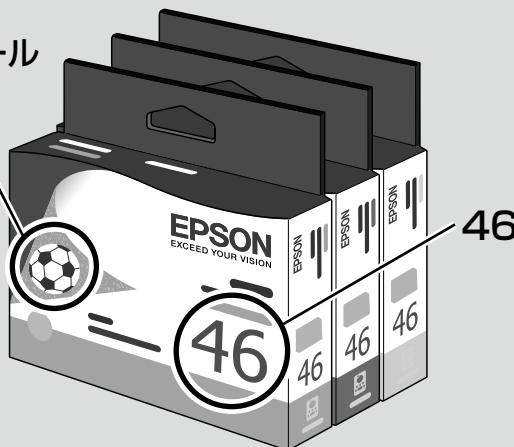
PX-601F 操作ガイド

インクカートリッジの型番

イメージ写真：ゾウ

イメージ写真：サッカーボール

56

46

ブラック	：ICBK56

お得な４色パックもあります。

４色パック	：IC4CL56

４色パックには各色１本ずつ入っています。

シアン	：ICC46
マゼンタ	：ICM46
イエロー	：ICY46

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】

プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響がでるなど、プリンタ本体の性能を発揮できないことがあります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品では、プリンタドライバなどでインク残量が表示されないことがあります。

インクカートリッジの回収について

学校に持っていこう！

郵便局に持っていこう！

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。
より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/inkrecycle/ >

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

EPSON

Printed in XXXXXX